

♡ こども食堂を まちの フラットフォーム に 人

「共食」と「食育」でつなぐ子どもの居場所



信州こども食堂バロー南松本店 2023.2.11 参加者約 300名

24H
無料相談
365日面談
の相談

相談件数
5,536件

生活支援
11,991人

面談同行
生活必需品
支援
(フードバンク)



朝日村こども食堂
2023.11.4 参加者 428名



2023.10
参加者 700名

共食でつながるフェスタながの

支援物資
109万点
216トン

県内 170カ所
66,945人

地域の
「居場所」
信州
こども食堂

<本部事務所>
松本市寿北5丁目4番 28-1
電話 0263-75-8368
<各地域拠点事務所>
長野市三本柳西 2-74 (にっこりFD.B)
電話 080-3418-0088
台風19号被災地 長野市上駒沢 356-102
電話 090-6473-9455
塩尻市片丘 7900 信州こども食堂 in しおじり
電話 090-9118-5899
上田市七瀬 2885-3 まるこ福祉会
電話 090-5329-1653



ハロウィンこども食堂
2023.11.15 参加者 870名

♡ 無料相談・問い合わせ 0120-914-994

特定非営利活動法人 NPOホットライン信州
E-mail: yff52160@nifty.com http://hotline-shinshu.jimdo.com/
団体の設立 2011年3月30日 法人の設立 2014年4月1日
== ★発行責任者 村上晃 ★編集責任者 青木正照 ==

2023年4月～2024年2月



目 次

「共食」と「食育」でつなぐ子どもの居場所

- 1 「NPO ホットライン信州」の活動は . . . P 1
- 2 コロナ禍と物価高騰で！支えあいの輪 . . . P 2
～ 24H 相談ケア・生活困難者支援・宅配支援～
- 3 地域で支え・認め合い、つながりを広げ、だれもが幸せな社会 . . . P 3
- 4 コロナ禍と物価高騰に苦しむ「ひとり親家庭の実態!!」 . . . P 7
- 5 阿部知事へ協力要請 . . . P 8
- 6 共食でつながるフェスタながの 2023 . . . P 10
- 7 コロナ禍と物価高騰の中での研修会・講演 . . . P 14
- 8 NHK テレビ 長野県信州を知るしん . . . P 17
- 9 2024.1.1能登半島地震、水・物資が不足！過酷な状況緊急支援 . . . P 51
- 10 フードドライブ・フードバンク・フードパントリー . . . P 58
- 11 こども食堂の作り方と保険加入 P 60
- 12 メディア関係など P 66
- 13 信州こども食堂ネットワーク・関連団体 P 78
- 14 信州こども食堂の広がり !! . . . 裏表紙



「NPO ホットライン信州」の活動は

自らの努力だけでは地域で自立した生活を送ることが困難な人、支援があれば目的が達成できる人への多角的な支援等を通して、誰もが「居場所」「出番」「就労」「自立」「生活の改善」ができるよう、地域・環境・ネットワークづくりに寄与する事業を行っています

食料・衣類・生活備品などの相談受付や、こども食堂などの食支援を通じた居場所を増やすことで、日々の関わりの中で困難に気づき、支援につなげることで、こうした活動を長野県内の志を同じにする個人や組織のネットワークをひろげていくことで誰一人取り残さない支援ができるように進めております。

～誰もが認め合って「居場所」を実感できる社会の実現を～



食の支援推進へ学習会（デリシャ研修センター）



NPO ホットライン信州の沿革と実績

2008年12月
年越し派遣村の活動支援

2011年3月11日
東日本大震災をきっかけに、
24時間365日無料の
電話相談事業を開始

2015年
団体を法人化し事業を推進

2016年～
信州こども食堂ネットワークを発足

2020年～
休眠預金事業等を活用し、共食・食育で
つなぐ子どもの居場所づくり支援を展開



内閣府特命大臣表彰は、信州こども食堂ネットワークの仲間たちのつながる力の結集です。



共生社会を支える3本柱の事業

2022年4月～2023年2月

1

こども食堂を通じた食料支援

県内178か所・約6万人の居場所を支えるために

支援物資
102万点
152ト

2

地域の「居場所」信州こども食堂の運営

食から生活相談まで、つながりづくりを包括サポート 県内 170 か所

66,991 人

3

生活困難者への無料相談支援

24時間365日の電話相談や同行支援、食料支援を展開

相談件数
5,536 件

こども食堂とは →

地域の誰もが気軽に行ける 「だれでも食堂」＝「地域食堂」

こどもが一人でも参加でき、無償もしくは低額で食事ができる「どんなこどもも安心していただける地域の居場所」です。

さまざまな活動形態があり、単に食事を提供するだけでなく、遊びや学習支援、食育などを通して、年齢の異なる人たちとのふれあいの中で、「経験」や「つながり」を得る場にもなっています。

また、こどもを通して親への支援につながったりもします。



*「こども食堂＝貧困」と誤解されがちな現状をうけ、最近では「地域食堂」や「みんなの食堂」を名称にする食堂も増えています。



とてもおいしい
ありがとう



共食でつながるフェスタながの
物づくりコーナー

こども食堂への食料支援

こども食堂が活動を継続するためには、食材・食品の調達が

不可欠となっています。そこで県内南北に寄付食材をストックできる食料支援ポイント(ロジ拠点)を整備し、企業や行政支援を受けながら分配活動を行っています。

食品管理と食中毒注意喚起を徹底しています。

食中毒や感染症、増える寄贈品への適切な対応など、注意いただきたい事項がまとまっている「あんしん手帖」を各団体に配布し、「食の安全」について周知徹底をするなど、万全の体制を構築しています。

支援物資取扱量 2023 年度:101 万数 159 トン



こども食堂を地域のプラットフォームに



地域で支え、認め合い
つながりを広げ、
誰もが幸せな社会へ



こどもが歩いて行けるよう
長野県小学校 370 区に
信州こども食堂を目標！



現在、長野県には 178 の「居場所」があり、
全国 10 位、充足率は 32.87% です。

○目標を達成するには地域の
理解と安定資源が必要です。

担い手は高齢者が多いのが実態、
コミュニティの活性化には、**多様な
市民・企業・団体の参加が必須**です。



○こどもたちの安心できる居場所に加
え、災害に対応できるコミュニティ
の力を秘めています。

つながる力で誰でも集える場所とし
て、活動のさらなる発信が必要です。



コロナ禍と物価高騰で！ 支えあいの輪 ～24H相談・ケア 生活困難者支援・宅配支援～

コロナ禍と物価高騰で生活困難者緊急対応！

長期化するコロナ禍に加え物価高騰のあおりを受け、子育て中の生活困窮者家庭は深刻な状況である。私達の24時間365日の無料相談や支援物資の配布の支援で、社会的に弱い立場に置かれた人が、厳しい生活を余儀なくされ更に追い込まれている。



様々な相談に対応している、子ども食堂の相談

**一人で悩んでいませんか？
まずはお電話ください。**



お電話で無料相談 あなたは一人ではありません。あなたのそばに私たちがいます。忘れて！

土・日曜日 10時-22時 フリーダイヤル **0120-914-994**

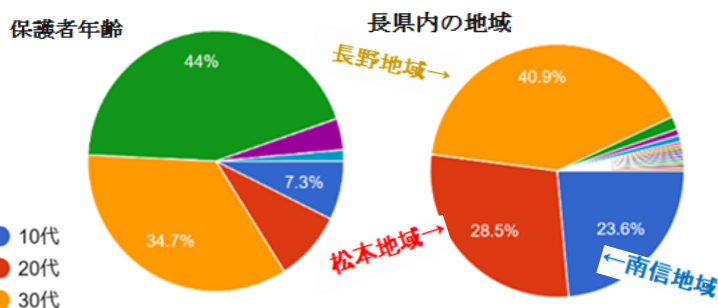
平日 10時-22時 ☎ **0263-75-8368**

相談の悩み事を確認しながら、支援方法を一緒に考えます。必要に応じて、最寄りの相談機関を紹介したり、専門家と一緒に解決方法を見出したり、自立に向けたお手伝いをします。

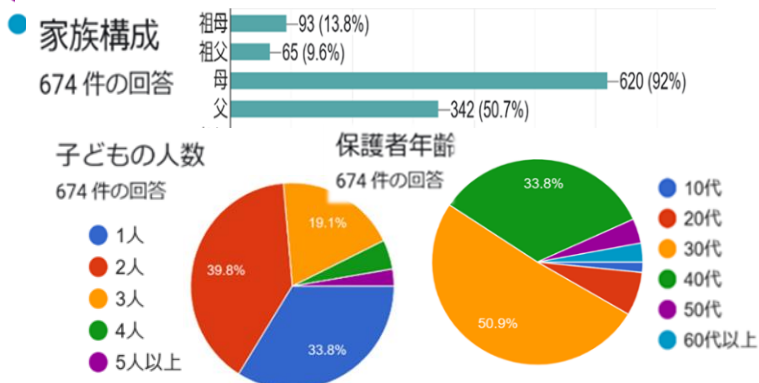


生活困難者家庭と要支援者の聞き取り

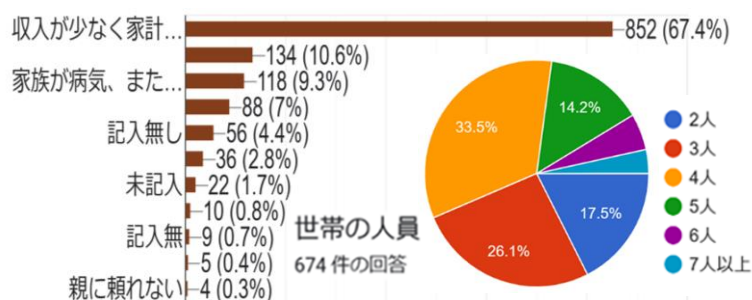
生活支援 9,870 人から 1,500 人の聞き取り調査



ひとり親家庭(別居・失業・離婚調停中) 680 人



支援を希望する理由→収入が少なく家計が苦しい



個人と親子両面に対応した支援の重要性

長期のコロナの影響による離職や離婚、生き辛さを抱えた親子の相談が増え、子どもにも心理的貧困という負の連鎖がみられ、自傷者の相談も増加傾向の中、その場しのぎの画一的支援策が、生活困窮者を更に苦境に追いやっている。画一的なサービスではなく、個々の生活実態を把握し、個人と親子両面に応じた柔軟な支援方法にが必須である。

居場所・こども食堂へのニーズの高まり

急激な物価高騰による生活困窮家庭の負担を少しでも緩和するための家庭への食糧支援が緊急に求められている。その受け皿ある、地域の「こども食堂」が生活困窮者家庭を支え、生き抜くための重要な役割を果たしている。

声声・「長引くコロナの影響で仕事量が減り所得も激減。更なる物価高騰が家計を圧迫し限界・・・」、「食費や光熱・燃料費の高騰で子どもの教育費が出ない！本当に苦しくて生きていけない」などの訴えが…連日続いている。

地域で支え・認め合い、つながりを広げ、誰もが幸せな社会

信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂が核となり、まちのプラットフォームとして、食育・対面・学習・就労・生活支援などの実施をしてきた。

信州子ども食堂 NW170 カ所 66,945 人

2023年4月～2024年2月までの集計

2023年信州子ども食堂参加者数

月数	子ども	大人	合計
4月	3122	2015	5137
5月	3,709	2,349	6,058
6月	3,012	2,012	5,024
7月	3,837	2,535	6,372
8月	3,807	2,481	6,288
9月	2,763	1,650	4,413
10月	7,391	4,294	11,685
11月	3,653	2,246	5,899
12月	4,243	2,629	6,872
1月	3,110	2,064	5,174
2月	2,428	1,595	4,023
合計	41,075	25,870	66,945

それぞれの「子ども食堂」で相談内容を聞く
⇒対応策を検討し支援に入る



親子の相談を受け、安心して笑顔がもどる

子どもの居場所が向き合っている子どもたちの現状に寄り添い、
子ども食堂をまちのプラットフォームにするために、
NPOホットライン信州が取り組んでいる 3 つ



日時	食堂名	子ども	大人	合計
12月2日	松川村 松川子どもカフェ	37	31	68
12月2日	上田市 子どもレストランきらっと	37	44	81
12月3日	生坂村子ども食堂	74	32	106
12月3日	信州子ども食堂古里カフェ	31	31	62
12月6日	ネパラポおやつ部	31	22	53
12月8日	NPO法人はなぶさ学園	34	45	79
12月8日	ハッピーハウス	58	40	98
12月9日	はらから・ぶち	37	13	50
12月10日	安曇野市 cocoroカフェ	55	53	108
12月10日	信州子ども食堂inバロー南松本	115	87	202
12月10日	信州子ども食堂with温泉寺	56	64	120
12月14日	信州子ども食堂in松本 どん八	73	45	118
12月16日	松本市「ヒッポポ食堂」	30	27	87
12月16日	松川村 松川子どもカフェ	50	43	93
12月16日	長野市 信州子ども食堂	156	82	145
12月16日	信州子ども食堂inこもろ	39	41	80
12月16日	信州子ども食堂inすわ ちゃんちゃんこ	21	27	48
12月16日	白馬村 子どもカフェ3	8	11	19
12月16日	朝日村針尾集落センター子ども食堂	285	143	428
12月16日	長野市 寺子屋カフェ	51	33	84
12月17日	子ども園深志子ども食堂フードパントリー	152	60	212
12月17日	信州子ども食堂inバロー南松本	112	86	198
12月17日	箕輪町 purみんなの学校 子ども食堂	23	13	36
12月18日	箕輪町 purみんなの学校 子ども食堂	34	20	54
12月18日	ゆいまーる子ども食堂 島立公民館	45	13	58
12月15日	中野市 なかの子ども食堂	37	32	69
12月20日	子どもカフェ ねやねや亭	74	99	173
12月23日	信州子ども食堂inまつもと学び塾	96	46	142
12月24日	小谷村 誰でも食堂	19	17	36
12月24日	信州子ども食堂古里カフェ	98	38	136
12月25日	松本市 寄り添い子ども食堂	59	63	122
12月26日	信州子ども食堂inまつもと学び塾	32	24	54
12月28日	長野市 信州子ども食堂in柳町	67	58	105
12月30日	信州子ども食堂inまつもと島内	73	52	125
12月中	富士見 カフェ&スペース ひこうせん	192	167	359
12月中	茅野市 コミュ・きっちん天香	366	128	494
12月中	岐阜県 地域で助けあう子ども食堂	379	145	524
12月中	箕輪町 purみんなの学校 子ども食堂	57	33	90
12月中	松本市 信州みんなの食堂	113	67	180
12月中	きずな子ども食堂宅配便(松本)	98	89	187
12月中	松本市 笑和はうす 月3回	53	39	102
12月中	須坂市 プラザ食堂	223	48	272
12月中	きずな子ども食堂宅配便(松本)	118	98	216
12月中	NPO法人Hug	251	230	488
12月中	(一社)感環自然村	136	7	136
12月中	まんまBaby&kids	58	43	101
	合計	4,243	2,629	6,872

こども食堂を通じた食糧支援

2024年度2月までの支援物資は、年間101万点の216ト車が集荷～配布された。



NPO ホットライン信州の松本地区拠点で各こども食堂が受取



11ト車からの荷下ろし

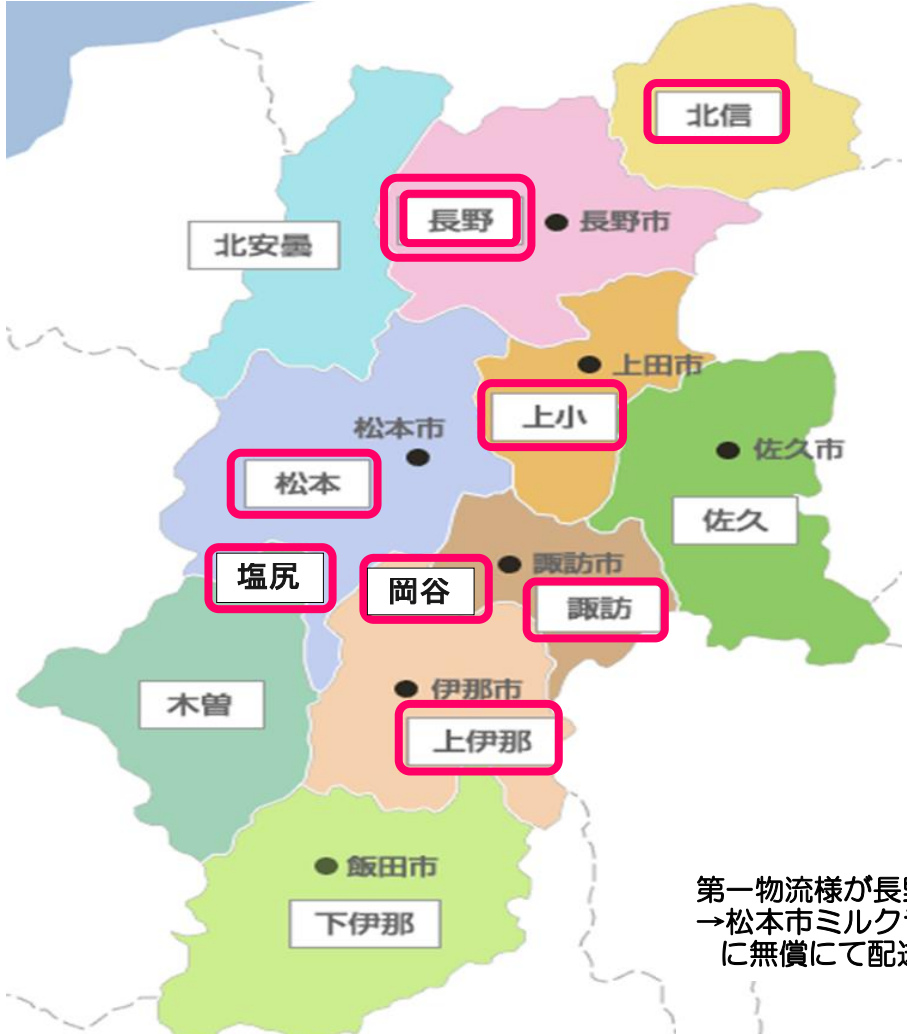
	NPOホットライン信州支援物資取扱量														2023年4月～2024年3月			
	NPOホットライン信州		松本市 本部扱い		JAグリーン長野・企業担当塚田		さんぼんやなぎ		Gプロジェクト		古里カフェ		寄り添いこども食堂					
	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ	数量	重さ				
2023.4月	109,426	23,085	96,885	15,320	6,310	1,742	10	3,000	4,193	2,530	282	46	1,746	447				
5月	70,813	17,910	59,395	11,573	6,800	2,161	108	2,680	3,348	1,185	622	82	540	229				
6月	135,414	34,490	61,672	21,170	66,876	11,143	120	200	2,275	1,348	2,538	334	1,933	295				
7月	118,280	18,733	57,175	8,608	59,355	8,850	109	680	253	340	846	147	542	108				
8月	113,580	20,809	56,535	8,339	52,000	8,015	337	3,300	1,773	980	2,215	145	720	30				
9月	69,998	14,835	42,742	9,485	24,630	3,160	238	1,200	315	222	774	18	1,299	750				
10月	84,599	18,678	49,666	6,263	32,002	5,708	163	4,800	464	775	504	92	1,800	1,040				
11月	90,488	21,463	48,042	11,380	38,575	5,530	298	1,200	175	1,730	1,228	218	2,170	1,405				
12月	66,010	18,967	49,629	10,905	13,621	3,145	115	2,030	347	1,360	293	7	2,005	1,520				
2024.1月	87,866	14,535	72,558	8,905	12,920	1,925	15	2,500	170	80	88	10	2,115	1,115				
2月	60,440	12,434	48,712	10,398	7,402	1,018	83	600	70	125	1,535	92	2,638	201				
3月	0	0																
合計	1,006,914	215,939	643,011	122,346	320,491	52,397	1,596	22,190	13,383	10,675	10,925	1,191	17,508	7,140				



冷凍食品受取 (アイスクリーム)



こども食堂を通じた食糧支援県内9カ所のロジ拠点



こども食堂の持続可能な活動を支えるために



冷凍アイス11ト車受取→配布



第一物流様が長野牛乳→松本市ミルクランドに無償にて配送支援



コロナ禍と物価高騰に苦しむ「ひとり親家庭の実態!!」

コロナ禍と物価高騰に苦しむ 生活弱者ひとり親家庭等支援

相談・面談・ケア件数 5,536 件
 支援者へ物資提供 11,991 件
 子ども食堂共食・物資 66,945 名



24時間
365日の
無料相談



シェルタールーム

DV など、身体的暴力
 や言葉による精神的・心理
 的暴力やお金を渡さないな
 どの経済的暴力を受け、一
 時的な居場所・避難場所と
 してのシェルターの活用も
 受けている。



2023度 相談・面談同行・生活支援・子ども食堂支援物資延べ人数									
		相談・面談同行・生活支援			子ども食堂・居場所他				
		相談員42名	フリー☎	LINE	相談ケア	女性1人親等	相談合計	支援物資	参加者数
2023年									
4月	203	32	20	25	55	335	985	5,137	
5月	211	24	18	23	65	341	1,136	6,058	
6月	264	37	22	41	63	427	1,025	5,024	
7月	338	42	35	54	112	581	1,152	6,372	
8月	326	40	31	48	104	549	1,135	6,288	
9月	274	32	29	39	66	440	854	4,413	
10月	435	46	42	87	128	738	1,340	11,685	
11月	305	38	24	52	92	511	1,087	5,899	
12月	375	78	36	72	119	680	1,293	6,872	
2024年									
1月	292	74	32	32	97	527	1,198	5,174	
2月	219	62	18	30	78	407	786	4,023	
合計	3,242	505	307	503	684	5,536	11,991	66,945	



相談内容は、年末年始 12/23～
 1/3 日まで、内閣府の孤独・孤立相談
 と合わせて、24 時間の相談窓口を開
 設。近年の物価高騰に、母子家庭の悩
 みは多岐にわたり一層深刻化しており、
 次から次へと相談は尽きない。

声の向こう
底見えぬ孤立



阿部知事へ協力要請 知事前向きな熱意示す!!

長野市 信州子ども食堂ネットワーク・NPO ホットライン信州

全国食支援活動協力会と NPO ホットライン信州は5月12日(金)、長野県庁で阿部知事に「子どもたちに効率的に食料を届けるための支援などを」と要望しました。

様子は、NHK・SBC・TSBのテレビニュースなどで紹介されたので、一部の映像をお借りして掲載します。



阿部知事に要請書を手渡したNPO ホットライン信州の村上晃理事長

信濃毎日新聞 2023年5月13日(土曜日)

子ども食堂運営 県に支援を要望
松本のNPO法人など 子ども食堂や生活困窮者への支援をするNPO法人ホットライン信州(松本市)などは12日、県庁に阿部守一知事を訪ね、安定的に活動するための支援を県に要望した。新型コロナウイルスや物価高騰などの影響で需要が高まっているが、食品の保管や配送などで課題があると訴えた。同法人の村上晃理事長が知事に要請書を手渡した。子ども食堂の運営を続けるため、食品や物資を県内各地に分配

信州子ども食堂ネットワークからは、コロナ禍や物価高で生活に苦しむ家庭が増えるなか、年間でのべ6万人近くに食料品を提供している現状を説明しました。

そのうえで、企業などから寄付された食料品の保管場所の確保や県内各地に152カ所以上ある子ども食堂に食材を配送する人手や資金の不足が課題になっていることを阿部知事に伝えて協力を求めました。



する仕組みづくりに取り組んでいるが、食品などを保管しておく倉庫の確保や配送態勢の充実、企業との連携が課題となっているとした。阿部知事は「宅配業者など子ども食堂を応援する企業や個人をつなげ、県内全体にしっかりとした仕組みをつくらせていきたい」と応じた。県内で進める高校再編後の跡地を、子ども食堂の支援拠点にする考え方も示した。ホットライン信州に助成している全国食支援活動協力会(東京)の平野覚治専務理事も同席した。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



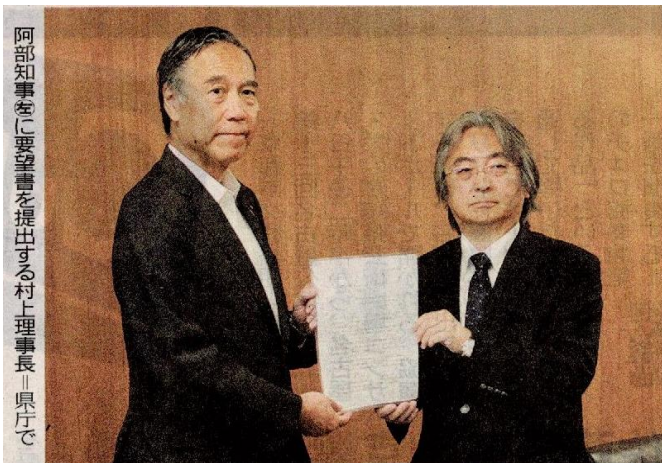
長野県における「共食」「食育」の支援の推進に向けて 長野県 阿部守一知事に要望!! 知事「協力する意向!!」



阿部知事は「食料品の保管場所として統廃合した高校の校舎などの貸し出しを検討したい。また、多くの人が食料支援に協力する持続可能なシステムをつくるため、一緒に考える場を設けたい」と具体的な意向を示しました。

中日新聞 2023年5月13日(土曜日)

NPOホットライン信州の村上晃理事長は「知事から『できる限り協力したい』と具体的な話もあり大変期待している。食材や支援があまねく行き渡り、生活に困窮している人が助かるシステムをぜひ一緒につくっていききたい」と話しました。



阿部知事をに要望書を提出する村上理事長 | 県庁で

子ども食堂 継続へ連携

県内の子ども食堂の支援に取り組む「NPOホットライン信州」（松本市）の代表らが十二日、県庁を訪れ、行政支援を訴えた。懇談した阿部守一知事は「（民間組織への）単なる協力や支援ではなく、一緒にシステムをつくっていかねばならない」と述べ、官民が連携して子ども食堂の活動を継続的に支えていく意向を示した。（大久保謙司）

NPOが支援要望 知事「仕組みづくり協力」

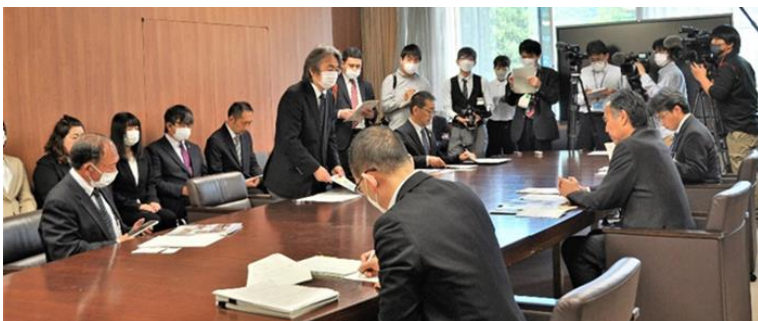
子どもを守る

県内には、ホットライン信州の関係先だけでも百五十二カ所の子どもの食堂が存在する。新型コロナウィルスス禍や物価高騰で食の支援が難しさを増す中、寄贈された食料を子ども食堂に配送する手段の維持や食品の保管場所の確保などが課題となっている。懇談にはホットライン信州の村上晃理事長、青木正照専務理事、民間公益活動

への活用が認められる「休眠預金」を活用してホットライン信州に活動費を助成する全国食支援活動協力会（東京）の平野寛治専務理事らが出席。村上理事長が、休眠預金を原資とする協力会からの助成が二〇二三年度で終わることを踏まえ、活動への支援を求める要望書を阿部知事に渡した。子ども食堂の関係者が抱える課題を聞いた阿部知事は「（関係者の）善意と熱意と優しさを活動に生かしていただいているのはありがたいが、持続可能な仕組みにしたい。多くの皆さんに協力してもらえれば形に発展させなければならぬ。一緒に考えさせてほしい」と述べた。村上理事長は取材に「大変ありがたく、期待している」と感謝した。

食の支援推進へ学習会を開催

5月12日（金）、長野市 デリシア 五明 研修センターで「長野県における、子どもの居場所への食の支援の推進に向けた学習会」を開催し、会場とZOOMで約70名が参加しました。



冒頭、午前中に行った、阿部知事への要請について報告。知事は「食料品の保管場所として検討する。また、多くの人々が食料支援に協力する持続可能なシステムを一緒に考える場を設けたい」と意向を示した内容を説明し、今後の食支援体制の一助とした。



長野県内における食支援の現状と課題をNPO ホットライン信州の青木専務が報告。

会場からも、共食に向けた企業や団体の取り組む体制の強化を望む意見が出された。



意見交換の中では、今後に向けて6月から始まる冷凍食品「アイスクリーム」の取り組みの協力と10月6・7日「フェスタながの」の取り組みなどを説明しました。



長迫和宏氏（北九州市役所こども食堂担当前係長）が「行政が子どもの居場所を支援することで行政が得られるメリット」と講演。



続いて、企業が取り組む社会貢献活動事例報告として、瀧本孝宏氏（長野牛乳株社長）が講演。全国での取り組みとして、全国食支援活動協力会 平野覚治専務が「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム」と連携の事例などを報告しました。



参加者の皆さんからも、全員参画で子ども達や子育て中の親子のためのこども食堂支援の拡充を求めることなどの意見が出された。

子ども食堂 支援するには 松本のNPO 長野で勉強会

子ども食堂の運営や支援、生活困窮者への食料支援を手がけるNPO法人ホットライン信州(松本市)は、子ども食堂などに寄せられる食品の保管や物流に関する勉強会を長野市内で開いた。持続可能な支援の在り方を考えよう



子ども食堂への支援などについて考えた学習会

と初めて企画。オンラインでも配信し約60人が参加した。2021年まで北九州市役所で子ども食堂担当係長を務めた長迫和宏さんが同市の取り組みを紹介、「行政の信用力や企業とのつながり

を生かせば、より支援の輪が広がる」とした。ホットライン信州専務理事の青木正照さんは「企業や行政の力を借り、それぞれの場所ですつなかりを構築したい」と話した。子ども食堂の支援を続ける長野牛乳(長野市)の滝本孝宏社長や、全国の支援物資の物流ネットワークづくりを進める全国食支援活動協力会(東京)の平野覚治さんも活動を紹介した。



共食でつながるフェスタながの 2023

『共食』と『食育』でつなぐ子ども居場所物流整備事業

「フェスタながの第1回実行委員会」で子ども達のための支援構築の仕組みをつくるため、行政・企業・団体等との協働の場を作っていくことを確認。



フェスタながの開催日は、10/6~7頃とし、10月6日(金)企業・団体・行政向け、10月7日(土)子ども食堂と一般向け予定とした第2回実行委員会で細田を決定するとした。

共食でつながるフェスタながの 2023 第2実行委員会

～こども食堂秋まつり - つながる力!!～

8月2日(水)、長野市ふれあい福祉センターにて「2023 共食でつながるフェスタながの第2回実行委員会」を開催しました😊。参加は、全国食支援活動協力会、長野県、長野市、地域振興局、県社協、信州こども食堂ネットワーク関係者ら約30人が、来る10月6日共食フェスタながのセミナー・・・7日こども食堂秋まつりを確認しました😊。冒頭、村上実行委員長挨拶に続き、長野県次世代サポート



課塩原課長、長野県議会青木崇県議ら行政や企業から、続いて全国食支援活動協力会 平野専務、NPO ホットライ信州青木専務らから取組と課題について報告と協議をしました😊。

会場は、10月6日(金)デリシア五明研修センターと10月7日
 ← 青木崇県議挨拶 篠ノ井交流センターで開催予定です😊。



共食でつながるフェスタながの 2023
信州こども食堂
 参加無料
 2023. 10/7 (土) 会場 ~つなげる力~
 11:00~14:00 篠ノ井交流センター
 長野市篠ノ井御幣川281-1 ※会場への直接の連絡はご遠慮ください
 ※感染対策のため、人数制限をさせていただく場合があります ※無くなり次第終了となります

お土産いろいろ！マイバッグを持ってきてね！

楽しく学ぼう！食育コーナー
 JAF こども免許証 共食フェスタ記念
 企業様・団体様提供 飲食コーナー ※数量限定
 製作・体験コーナー ※一部整理券あり
 長野県産 ちょうせんしよう！りんご皮むき大会
 子ども服など おさがりコーナー
 ほっとー息！ハンドトリートメント
 バルーンアートプレゼント ※数量限定
 遊びコーナー (ポッチャ・陣地を守れ等)

コロナ対策実施中
 ご協力をお願い
 参加しよう！すぐできるSDGs！
 家にある使っていない食材、頂きもので余っている食材ありませんか？食品は未開封のもので賞味期限明記のものに限ります。 ※お米は古米まで ※未使用品に限ります
フードライブにご協力ください！
 ご家庭に置いてある食品はありますか？
 主催：特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 (信州こども食堂ネットワーク) ☎ 0263-75-8368
 共催：(一社)全国食支援活動協力会 篠ノ井ライオンズクラブ
 協賛：長野北東ロータリークラブ・長野牛乳協・信州ハム協
 有るは堂・パローホールディングス様・株サンエイ・一徳
 株式会社 たいどーりんご様、(一社)日本自動車連盟長野支部、POLA lealea
 信州大学音楽ボランティアサークルPrimo、共和国芸農協同組合 (順不同)
 後援：長野県・長野市・長野県社会福祉協議会

共食でつながるフェスタながの 2023
信州こども食堂
 開催
 オンライン
 ハイブリッド開催
 参加無料
共食でつながるフェスタながの 2023
 ~『共食』と『食育』でつなぐ子ども居場所物流整備事業~
 2023. 10/6 (金) 会場 デリシア五明研修センター
 13:30~16:00 長野市篠ノ井布部5明280 ※会場への直接の連絡はご遠慮ください

第1部 13:30~
 長野県県民文化部こども若者局 次世代サポート課長 塩原 昭夫 氏
 ・県における こどもカフェの推進について
 農林水産省関東農政局 経営・事業支援部食品企業課 食品企業専門官 関口 泰雄 氏
 ・行政が出来る、食のある居場所づくり支援について

信州ハム株式会社 代表取締役社長 堀川 善弘 氏
 ・「信州ハム」の食育活動
 長野牛乳株式会社 代表取締役社長 瀧本 孝宏 氏
 ・物流・保管の支援について

第2部 14:55~
 一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事 平野 寛治 氏
 ・「ミールズ・オン・ホイールズ」システム」と連携の事例
 特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 専務理事 青木 正照 氏
 ・「共食」と「食育」の協働でつなげる力!!

登壇者による パネルディスカッション・質疑応答
 いずれの県でも保管・物流の問題、寄贈の減少等が課題となっています。子どもや高齢者、障がい者、外国にルーツをもつ方など、誰もが参加できる地域の居場所が継続できるように、課題解決に向け協議する場にしたいと、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

参加対象者
 物流事業者、食品事業者、企業、行政、自治体、社会貢献活動に関心のある方

主催：特定非営利活動法人 NPOホットライン信州 (信州こども食堂ネットワーク) ☎ 0263-75-8368
 共催：(一社)全国食支援活動協力会
 協賛：長野牛乳協・信州ハム協・デリシア
 後援：長野県・長野市・長野県社会福祉協議会

共食でつながる 新たな拠点

飯田市佐久市方面の中間拠点南佐久郡に11トントラックが入る拠点が箕輪町に4カ所できました。箕輪町が拠点になり、南信地域に物資が届くようになり、多大な成果が生まれました。

①トイロベースでは居住支援、相談、フードパントリー、子ども食堂、おもちゃの図書館、無料でお持ち帰りできる子ども服などのリユースルームを行っている。



②イオン箕輪店内の場所を借りて・・・お買い物自由時間に、認知症予防、よろず相談 悩み相談を受けている。こども食堂やイベントを行っている。



③学習支援している 学研箕輪南部教室



④箕輪町役場が物資受取拠点となる。職員の応援が可能



こども食堂 ～ 第三の居場所づくりと貧困対策

～ 誰一人取り残されない社会のために ～

松本市倫理法人会



11月2日(木)松本市倫理法人会モーニングセミナーAM6:00～ホテルブエナビスタで開催しました。厳粛な雰囲気の中、会長挨拶・倫理法人会の歌斉唱を行った後、NPO ホットライン信州 青木専務理事の講話は、「世界のリーダーの『倫理観の欠如』(米のトランプ・ロシアのプーチンや

イスラムのネタニヤフなど)により、本来守らなければならない社会秩序が抜け落ち、平気で戦争や犯罪を犯してしまう社会になってしまった。今こそ!!「倫理観」ある、社会の秩序により平穩に暮らしていくためにも、倫理法人会の活動は、県・国・世界に向けて発信すべき時である。」と訴えた。



ネットワークで信州の子どもの未来を創る!

— 松本地域子ども応援プラットフォーム —

11月9日(木)松本地域子ども応援プラットフォーム主催の『ネットワークで信州の子どもの未来を創る!』テーマに、地域の方にも広く活動を知っていただき、構成員同士の連携と協力を図るため、先進的に子ども食堂の活動に取り組まれている(特定)NPO ホットライン信州の青木専務の講演会や16団体の活動紹介などを行い、約100名が参加した。



松本地域子ども応援プラットフォーム
活動紹介X交流

参加費 無料

『ネットワークで信州の子どもの未来を創る!』

日時 11月9日(木)
13時30分～16時 (受付13時～)

会場 松本会館 講堂

第1部(講演会)13時30分～14時30分
『子ども食堂をつなぐ力!まちのプラットフォームに!』
青木専務理事(特定)NPO ホットライン信州 青木専務理事

第2部(活動紹介)14時30分～16時
子どもの支援・居場所づくり団体の活動紹介と交流会

申込方法
こちらから

「松本地域子ども応援プラットフォーム」安曇野地域交流会 2024.1.16

松本地域子ども応援プラットフォーム安曇野地域構成員及び子育て・子ども支援活動に関心をお持ちになっている20名が参加。冒頭、「子どもの未来を創るネットワークの輪」を構築する、子どもを中心とした地域の人たちが集まる居場所づくりの必要性について、NPO ホットライン信州 青木専務理事(信州こども食堂ネットワーク事務局長)が講演し、具体的な事例として、もし突然の災害にも適用した、防災対策についての実演等を小林スタッフがわかりやすく説明し、交流・意見交換を図る場になりました。



第2回フードバンク活動団体連絡会 情報交換(運輸企業 2 社) 2024.3.8 県・社協(市町村)・NPO ホットライン信州など 6 団体 + 日本郵便(株)とヤマト運輸

昨年5月 12 日に全国食支援活動協力会と NPO ホットライン信州が知事に「共食の推進に向けて」要望書を渡した際に、知事が「食料の保管場所を検討したい。また、多くの人が食料支援に協力する持続可能なシステムをつくるため、一緒に考える場を設けたい」と具体的な意向を示した発言を受けて、輸送事業者(日本郵便(株)とヤマト運輸(株))にご参加いただき、連絡会の構成団体と情報交換を行い、それぞれの活動上の課題について意見交換をした。



テーブル型冷凍庫-塩尻市



業務用冷凍庫 ↑ 塩尻市 ↑ 長野市 岡谷市→



テーブル型冷蔵庫-本部

知事の意向を受け、県では6月補正予算、

11月補正予算で冷凍冷蔵庫や車両の整備の補助の公募を行い、当法人として、冷凍冷蔵庫7台と車両3台の整備を実施した。

それぞれの活動上の活動範囲は拡充したが、課題としては、冷凍冷蔵庫7台と車両3台のランニングコストや維持費の費用負担が多くなり財政の圧迫になっている。



スズキランディバン 2,000 CC 長野市



ポータブル冷蔵庫 全県対応用



ホンダ NVAN 軽ワゴン 660 CC 塩尻市・長野市



諏訪中央病院看護専門学校3年生の学習会

体験 コロナ禍と物価高騰で！ 支えあいの輪 24H相談ケア生活困難者支援・フードバンク～

6月8日(木)、諏訪中央病院看護専門学校生が、こども食堂での「おやきを焼きトマト料理」の体験をし、その後、生活困難者支援の現状についての講演と生活困難者への支援物資作り(お米とパンの耳の袋詰め)を行い、同日の信州こども食堂まつもとで、配布しました!!



2023年6月9日(金) 信濃毎日新聞

諏訪中央病院看護専門学校(茅野市)の生徒6人が8日、塩尻市片丘でNPO法人ホットライン信州(松本市)が運営する「信州こども食堂しおじり片丘」を訪れ、子ども食堂の現状を学んだ。子ども食堂の役割などについて説明を受け、食品を小分けする作業も体験した。

新型コロナ禍や物価高の中、生活に困窮する人を支える地域の取り組みを学ぼうと訪問。同法人専務理事の青木正照さん(73)は、子ども食堂は困窮者支

子ども食堂の役割とは

塩尻 看護専門学校生が現状学ぶ



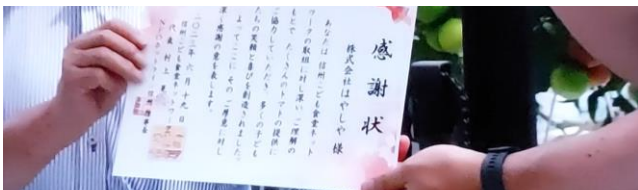
子ども食堂に寄付された米を、小さな袋に分ける生徒ら

援のために始まったが、居場所をつくる役割も果たしていると説明。食事を共にする場を設けることで「自殺や犯罪、虐待が起らない社会づくりにもつながりたい」と強調した。

生徒らは、袋に穴が開いたためスーパーから寄付されたコメを、配布するため小袋に移し替える作業もした。3年の岩井紗葉さん(20)「茅野市豊平」は「住民を支える地域の活動を知り、将来、患者さんとの関わりに生かされたい」と話していた。

進化する「信州子ども食堂」

6月30日(金) 19:30-20:42NHK テレビ 長野県信州を知るしん「もぐしん」にて、6分ほど放映されました。長野県内には約200カ所の子ども食堂があり、コロナ禍での子ども食堂が紹介され、NPO ホットライン信州のフードドライブを通じての新鮮な食材の配布…子ども食堂に来られない、家庭には「デリバリー型子ども食堂」や親子や家族で「共食体験できる信州子ども食堂」。また、「パロー南松本店」での子ども食堂は、多くの子どもたちが参加して紙芝居やゲーム・工作や勉強など楽しんでいます。その間に、お母さんたちは、安心して、安く良い食材求めて買い物ができると評判が良いです。



長野県内には、200カ所の子ども食堂があり、それぞれの子ども食堂や各家庭などに、フードドライブで、家庭や企業から集まった様々な食材をNPO ホットライン信州が届けている。(株)はやしやさんから毎回

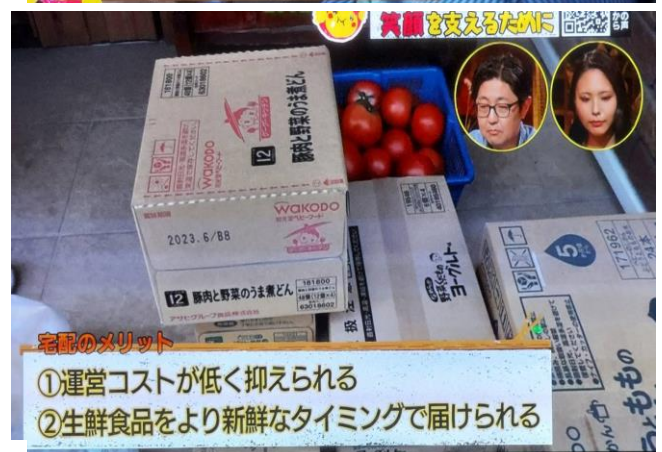


新鮮なトマトをいただく (写真)

子ども食堂に来られない、家庭には「デリバリー子ども食堂」として、各家庭に悩みや困りごとなど「面談・相談」を兼ねて届けています。運送会社を利用しないため、低コストと新鮮な生鮮食品を直接届けることができます。



- 宅配のメリット
- ①運営コストが低く抑えられる
 - ②生鮮食品をより新鮮なタイミングで届けられる



- 宅配のメリット
- ①運営コストが低く抑えられる
 - ②生鮮食品をより新鮮なタイミングで届けられる

スーパーマーケット「パロー南松本店でのこども食堂」として、多くの子どもたちが参加して紙芝居やゲーム・工作や勉強など楽しんでいます。その間に、お母さんたちは、安心して、安くて良い食材求めて買い物をしています。



親子や家族で「共食体験できる信州こども食堂」として、多くの子どもたちが参加して紙芝居やゲーム・工作や勉強など楽しんでいます。その間に、お母さんたちは、安心して、安くて良い食材求めて買い物をしています。



NHK 長野では、2023年7月1日(土)も再放送され、「新たな形のこども



食堂としてスーパーマーケット併設型と親子で料理教室に参加できる」こども食堂が紹介され、それを支えるフードバンクの取り組みが紹介された忙しい土・日でした。勉強など楽しんでいま

7:50 長野県 29℃ (もくしん定額便) NHKプラスで配信中

フードドライブ 問い合わせ

NPOホットライン信州

0263-75-8368

フードドライブ 寄付受付

長野市 7月15日(土) 午前11時
長野市役所西側「桜スクエア」

松本市 7月13日(木) 午後4時
22日(土) 午前10時
駅前記念公園東側向かい「峯村ビル」

困ったときは お互いさまで

長野市 信州子ども食堂



子育て家庭にとって何かと出費の多い新年度のスタート。4月15日(土)、の長野市の「信州子ども食堂」は、子ども160名を含む243名の大勢の皆さまが参加され、楽しい時間を過ごし、たくさんの物資をお持ち帰りいただきました😊。



株)パソナさんから、横断幕(写真)が贈呈されました。ボランティアでもご協力くださっています。各企業様、団体様、みなさんやご寄付をくださった方々ありがとうございました。私たちスタッフは、当日、裏方としてドタバタで、みなさまの「困った～」という声に耳を傾ける余裕が残念ながらありませんでした・・・😊。




しかし、信州子ども食堂の運営団体であるNPO ホットライン信州では、フリーダイヤル0120-914-994で電話相談を受け付けていますので困った時にはお気軽にお電話をくださいね！私たち信州子ども食堂の思いは、困った時はお互い様です。困った時は頼ってもらいたい。そして困っている人がいたら手を差し伸べてほしい😊。「信州子ども食堂から優しい気持ちをリレーできたらいいなあ～」というつぶやきでした😊



＜編集＞信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



設立5周年お祝い 記念豪華イベント

長野市 古里こどもカフェ

4月16日(日)10時から上駒沢の一軒家で「古里こどもカフェ」設立5周年のお祝いイベントを開催しました。

天候に恵まれ、こども21名含む51名の参加者の皆さんで楽しい時間を過ごすことができました。



こども達には「遊び券」を使って、遊びのコーナーでルールを守って遊んでもらいました。



フリーマーケットは笑い声の絶えない楽しい場所になりました。



ひとり親家庭世帯に食材セット箱詰を提供しました。「本当に助かります。ありがとうございます」と喜んでいただきました。



帰りにはNPO ホットライン信州より寄贈された食材や直富商事(株)様より寄贈されたトイレペーパーを提供しました。

<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



お祭りのように 楽しくにぎやか

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



4月22日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、子ども58名を含む101名が参加😊。

公園ではエクセラン高校生のビーズアクセサリ作り、ポップコーン、わたあめ、バルーンアート作り、紙芝居などなど😊。家族や友だちと公園で食べる海鮮丼！にぎやかに笑顔あふれるお祭りのような子ども食堂でした！



おいしい海鮮丼や野菜などを渡しました



衣類の配布も行いました



公園でバルーンアート作りやビーズアクセサリ作り、ポップコーン、わたあめなどを楽しみ、お祭りのようでした



子どもにお菓子を渡すサンエイさん

帰りのお土産は、長野牛乳、サンエイさんからのお菓子、JAのお米、玄向寺様ドーナツ・おやき、フルグラ、チョコパイ、ティンカーベル、野菜、チョコレート、生理用品などを配布!!みなさん大喜び!笑顔がいっぱいでした😊 ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました🙏



長野県JAバンク様から贈呈の2㌔のお米を披露しました

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



高校生ボランティア中心 河川敷で水と空のBBQ

松本市 信州子ども食堂 in エクセラン高校 BBQ

4月23日(日)、松本市薄川緑地の河川敷で楽しくスローガンに「信州子ども食堂 in エクセラン高校 BBQ」が開催されました😊。

設営と火起こし、食材の準備などは、エクセラン高校生のボランティアが中心😊。企業から提供いただいた牛肉、野菜、ジュースなど活用しました。



おいしくて楽しい大成功！の記念撮影



朝のミーティング後に準備を開始



途中、別の場所で子ども食堂を運営されてる方や子ども食堂に興味ある方からお声がけいただきました



おなががいっぱいになった子どもたちは、元気いっぱい川の中で遊んだり、遊具で遊んだりして過ごしました😊。

肉や野菜を焼いておいしくいただきました



前方は美ヶ原、後方は残雪の乗鞍高原

初めて会う子ども同士とも仲良く遊び、「また来たい！次はいつやるの？」、「もっと遊んでいきたいから、まだ帰りたくない！」と、大満足でした😊
最後は、アイスクリーム食べて、記念撮影しました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



長野市役所で心と心をつなぐご縁リレー

長野市 信州子ども食堂

4月29日(土)、長野市役所で“もったいない”を“ありがとう”の心と心をつなぐ善意のご縁リレーと、フードドライブ&フードパントリー信州子ども食堂を開催しました。

主催はNPO ホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク)、共催は長野市環境部生活環境課。食品に加えて衣類や学用品など子ども用品の提供も呼びかけてくださいました。

昼休みをはさんだ2時間で、子ども78名含む134名もの方々から、約5,600点280kgの支援物資が集まりました。



長野市役所ロビーに多くの方が支援物資を届けてくださいました

信州子ども食堂フードパントリー



長野県 JA バンクからのお米をいただき喜び子どもたち

お預かりした品々は、長野市を中心とした信州子ども食堂ネットワークの各子ども食堂と、生活物資を必要としているご家庭へ配布いたします。ご寄贈していただいた皆様と、ボランティア参加の信大生・高校生・中学生に感謝します。ありがとうございました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



SDGs でプレゼント作り 母の日のお母さんに感謝

松本市 信州子ども食堂 in ことぶき

五月晴れの爽やかな中、ゴールデンウィーク中の5月4日（木）、松本市のNPO ホットライン信州事務所で、「信州子ども食堂 in ことぶき」を開催！子ども7人を含む12名が参加しました。

子どもたちは、料理の手伝いやたこ焼きや作りに熱中し、元気いっぱい楽しみました。



2023年5月5日 金曜日 中日新聞

相談4170件 9640人支援

実績情報 他団体とシェア



子ども食堂7年の歴史とSDGsを勉強し、お母さんへ感謝のプレゼントを作りました。



お母さんへの慰労会
お花のプレゼント

こどもの日

市内子ども食堂を運営する松本市のNPO法人「ホットライン信州」は、昨年度の活動をまとめた冊子を発行した。活動記録のほか、支援を受けた人への聞き取り調査の結果や発行物のバックナンバーなども掲載。青木正照専務理事からは「他団体と情報を共有することで今後の活動に役立てたい」と方を定める。とめたものなど四種類。冊子による

松本の運営法人 昨年度の活動冊子に



昨年度の活動記録などをまとめた冊子を手にする青木さん＝松本市寿北5で

と昨年度、ホットライン信州に寄せられた相談は四千七百七件で、九千六百四十人へ支援を実施した。新型コロナウイルス禍と物価高による生活困窮を理由に挙げる人も多かったという。取り扱った支援物資は計百一万点で百五十二トに及んだ。ホットライン信州が事務局を務める信州子ども食堂ネットワーク全体での子ども食堂は、県内百五十九カ所、計六百七十四回で、五万六千人が参加した。前年度より七十回、一万七千人ほど増加した。団体が活動のたびに発行する「信州子ども食堂ネットワーク便りのバックナンバー」の近年分をまとめた冊子も、便りは一六年秋から発行しており、昨年、千号を迎えた。冊子は各五百部を発行し、他の子ども食堂の運営団体に配布。青木さんは「寄付をくださった方への報告と感謝の気持ちも込めた。活動に携わるみなさんの子どもを育てたい」という熱意を感じると話した。

(右田誠彦)

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



高大生と一緒に 笑顔いっぱい

松本市 信州子ども食堂 in 松本どん八



5月11日(木)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本どん八」は、子ども38名を含む78名が参加。メニューは、どん八のいなり寿司と炊き出し隊みらいのエビフライうどん。そして、思わぬチョコレートフォンデュに、子どもたちは、ビックリ!!「すっごく!おいしい!!」と喜びの歓声がわきました。



エクセラン高校生のカラフル「こいのぼり作り」と、お母さんへのメッセージカードを作り、可愛い笑顔の作品ができました!



物価高で子育て中の方々の生活も大変な中、高校生や大学生のお兄さん・お姉さんらは、子どもたちと一緒に遊んだり、お勉強したり、工作など、子どもたちを笑顔いっぱいにしてくれます。



今回もいっぱいのお土産!
アプロ様のお菓子や玄向寺さんのドーナツに長野牛乳、美酢、野菜、お米などをいただき、「ありがとう」と感謝の声🙏。
ボランティアの信大生や皆様、本当にありがとうございました🙏。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



プロレス観戦と 思い出の一軒家

長野市 古里こどもカフェ



5月14日(日)10時から、アグリながぬま第2駐車場で開いた 信州プロレスコラボ企画のイベント。こども48名含む111名が、雨が降り出しても傘をさして熱く観戦していました。上田から参加されたお父さんは「年一回のプロレスイベントを家族で楽しみにしています。来年もまた来ます」と声を掛けてくださいました。



フリーマーケットにもたくさんの方が来てくださいました。食材、お菓子、軽食をもらって帰られました。



参加者には軽食のホットドッグを、信州プロレスのレスラーの方にはハンバーガー弁当を用意しました。



5月21日(日)、一軒家での最後のこども食堂を開催しました。地主さんの都合で5月に撤去することになりましたが、たくさんの思い出を残す事ができ、地主さんには心から感謝です。



こども13名含む28名の参加でした。ランチは「きのこカレーのメンチカツ乗っけ」カレーをお代わりすることも達もたくさんいました。



テントの中でスクラッチアートに挑戦しました。

食後は「地球グミ」をカプセルから割って大騒ぎして食べていました。

参加者のお母さんたちから「広いお庭でいろいろなイベントを開催していただき思い出を残すことができました。

次の所も期待しています」と声を掛けていただきました



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



水曜日と休日の やさしい空間

松本市 信州みんなの食堂

こどもカフェ
信州みんなの食堂

よろちで留守番がち、
一人で食卓している、
話し相手がほしい子どもや
お母さんがホッとさせる居場所です

5月の開催日：
10日、17日、24日、31日
(16時～宿題&遊び、17時20分～食事)

予約先  facebook 

参加費：こども無料
大人500円～(カンパとしてお願いします)
信州みんなの食堂 松本市新村2218
下里かおり 090-7943-4452
〒390-0801 松本市新村2-2218 信州みんなの食堂

松本市の新村地区で毎週水曜日と休日に開く「信州みんなの食堂」。5月は6日間で、子ども154名を含む292名が参加しました。



ゴールデンウィーク中の3日(祝日)には、豆腐作りのイベントを企画。地元農家からいただいた大豆を粉碎。鍋で煮て、甘くおいしい豆乳の味見もできました。



13日には、母の日のプレゼントを作りました。保冷剤の中身を使って、好きなアロマの香り付け。ラッピングを施して、お母さんに手渡しました。



毎回、地区外の子どもも参加します。初めて会う子や学年が違う子どもたちも自然に打ち解け合うやさしい空間。いつの間にか、子ども同士の相席ができています。



17日のメニューは、ごはんが主役「ちらし寿司」。ほかにも大豆が半分入った肉団子やすまし汁、ホウレンソウの和え物、かぼちゃのおやきを天ぷらにして提供。おかわりする子どももいて、大好評でした。



24日は、初企画「こども食堂で防災食作り」の第1弾「パッククッキングでお米をたいてみよう」。調理に使う水の量を最小限に抑えられるポリ袋で、ごはんを作りました。参加者の目の前で実際の工程を確認、味見をしました。次回は、汁物に挑戦してみます。



毎回配るお菓子の詰め合わせ。スタッフが管理して、帰る子ども一人一人に渡します。

<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



親子で楽しく サンドイッチ

長野市 信州子ども食堂



5月20日(土)、長野市のふれあい福祉センターで毎月第3土曜日に開催している「信州子ども食堂」には、子ども125名を含む187名の大勢の皆さんが参加し、楽しい時間を過ごしました😊。



今日は、親子で楽しくサンドイッチ作りを体験してもらいました😊。コロナ禍以降、フードパントリーを中心に活動をしていましたが、ここ数ヶ月は、体験を盛り込んだ内容にシフトチェンジして活動しています😊



次回は、6月17日ボランティア大歓迎

最後は、たくさんの物資をお持ち帰りいただきました😊。多くの皆さんには大変喜ばれ、参加された親子さんはとても楽しんでくださり、私たちも嬉しい限りなのです。しかし、参加者は増える一方で、運営側のスタッフの手が足りていないのです💧。次回は、6月17日。ボランティアさん大歓迎です。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ ☎️ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



笑いごえが響く 新学期のカフェ

長野市寺子屋カフェ

4月1日(土)の「寺子屋カフェ」は、春休み特別企画第2弾「バルーンアート」で遊びました！シューっと細長い風船をキュッキュッとねじって、みんな夢中でお花や動物さんをいっぱい作りました。



参加は子ども12名と大人6人の18人。メニューは、ちらし寿司、おにぎり、鶏肉の南蛮漬け、鶏肉の甘酢あん、ミモザサラダ、りんごのカップケーキ、りんごのケーキ、ゼリー寄せ、かぶの漬け物、麦茶でした。春休み最後でお出かけの人が多く、いつもの常連さんかだいぶ欠席でしたが、「おいしい、おいしい」と食べてくれました。



新年度がスタートした4月15日(土)は、小雨の中、子ども31人と大人8人の計39人が参加。元気いっぱい子どもたちとパパさんママさんも来てくれました！今回は、トムとジェリーの絵本やプロジェクター上映です！



メニューは、五目御飯、じゃがいものスープ、かぼちゃと豚肉の甘酢炒め、黒豆と高野豆腐の揚げからめ、じゃがいものグラタン、りんごのチョコがけ、春巻きのお菓子、ゼリー、麦茶でした。



折り紙で、羽が動く鳥を教してもらいました

5月13日(土)の参加は、子ども48人と大人16人の計64人。メニューは、鮭のフライ、ミートボールの甘酢からめ、ほうれん草のマヨネーズのり合え、ねぎの油味噌のコーンフレーク乗せ、ドーナツ、牛乳寒天、麦茶でした。



「すいせんマジックサークル」さんのステージに子どもたちの笑いごえが響いていました。和室では、一生懸命勉強をしている子もいました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



毎月 2 回で 1,000 食提供

富士見町 ひこうせん食堂



NPO 法人「こどもの未来をかんがえる会」が月 2 回開く「ひこうせん食堂」。4月は 12 日と 26 日で計 150 食、5月は 10 日と 24 日で計 190 食を提供しました。(毎月発行の「ひこうせんだより」

から一部を紹介します)



皆さんのご協力
で 1,000 食
を提供
でき、長野
日報に掲載
されました

昨今、社会問題となっている不登校や行きしぶり。彼らのその後を追ったドキュメンタリー映画「自立への道」を上映しました。座談会で監督は保育の質が上がる一方で気付く義務教育とのずれや、今の作られた社会で苦しむ子どもたちにできることを語っていただきました。変えた方がいいこと、変わらないこと、変えられないこと、様々ですが、子どもたちの未来のために私たちが出来ることと向き合って生きる大人でありたいです。



ひこうせん食堂は 2023 年度、キューピーみらいたまご財団様からの助成 20 万円をうけて活動することとなりました。この場を借りてお礼申し上げます。

4 月 29 日グリーンフェアのバザー・おもちゃ交換会は、子ども服を探すお母さんや、文房具を選ぶ子どもたちでにぎわいました。おもちゃ交換会には、おもちゃを手をやってくる子どもたちで列ができました。



5 月は SHOGEN さんのお話しとお絵描きワークショップ。ブンジュ村にて実体験として様々なことを感じてきた SHOGEN さんだからこそのお話が、たくさん聞けました。序盤から涙する方もいて、笑いもあり、首がもげるくらいの頷きあり、とても濃い有意義な時間が過ごせました。



5/10 山菜採りに大奮闘!!

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人 NPO ホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



こども広場で 一緒に遊ぼう

松本市 信州こども食堂 in バロー南松本店



5月21日(日)、松本市のバロー南松本店で開いた「信州こども食堂 in バロー南松本店」は、参加者153名(うち子ども41名)と大賑わいでした😊。



メニューは、あったかおにぎり、バローパン、お菓子やお豆腐に信大生の綿あめ😊。子どもたちはバルーンアートを手にと大喜びでした😊。



「こども広場」では、大きな画用紙に塗り絵やカルタ、割りばし輪ゴム鉄砲とペーパーグライダー作り体験。滑り台や紙芝居を楽しむ子どもたちに安心して、お母さんらは買い物をしました😊。



帰りは、トマト・お米・食材・生理用品など無料配布に「物価高騰の中、とても助かります」など、信大学生ボランティア大活躍の中、感謝の言葉をたくさんいただきました😊。

<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
 無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



6月11日(日)は、参加者126名(うち子ども98名)😊。メニューは、子どもたちの食育体験の焼き餃子にパローパン、お菓子やお豆腐。エクセラン高校生による綿あめ機が壊れて急ぎょ、パンの耳の「香ばしいシュガーラスク」になりましたが、大好評でした😄。



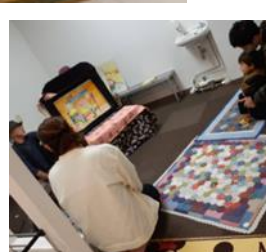
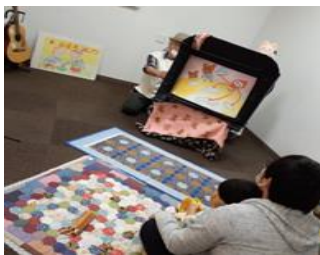
「子ども広場」ではキーホルダーづくりに読み聞かせや紙芝居にお勉強など。それぞれに喜ぶ子どもたちに安心して、お母さんらは買い物を楽しみました😊。



帰りは、トマト・お米・食材、お母さんにはブランデーチョコや生理用品などの無料配布に「物価高騰の中、とても助かります」と荷物を抱えて、みんなの笑顔いっぱいでした😊。子ども食堂に来られない家庭への宅配する荷物の運搬中!!

子どもと一緒に遊ぼう!! 子ども広場

お年寄り3人で行う、可愛い小さな子ども広場。月に2回(5月は14日と28日)、予約なしで気軽に参加して、おじいちゃん・おばあちゃんと紙芝居やゲームなどを楽しみました。



家族で挑戦-料理 と交通安全クイズ



松本市 寄り添いこども食堂

5月22日(月)の「寄り添いこども食堂」には、こども58人を含む115人が参加しました。雲行きが怪しく少し雨がパラパラした時間もありましたが、後片付けまで無事に終わることができました！



今回は、白身魚のフライとハンバーグ弁当にしました。白身魚のフライとハンバーグは「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」でいただいた寄付金で購入しました。付け合わせは、さつまいものレモン煮、なすのピザソース炒め、パイナップル。さらにカプレーゼ、お味噌汁でした。

パイナップル、トマト、モッツァレラチーズは、NPO ホットライン信州を通していただいたものです。トマトは帰りにおみやげとしてもお渡ししました。



5月は春の全国交通安全運動が実施されるので、それに合わせて交通安全クイズを実施。家族みんなで挑戦していました。

また、県ヶ丘高校地球の会の3人がバルーンアートで犬や剣を作ってくれました。子ども達も高校生に教えてもらいながら



一緒に作っていましたが、うまくできたかな?できなくても、完成したバルーンアートをもらっていました。

ホットライン信州を通していただいた、カップ麺、ジュース、美酢、チョコレート、お菓子、トマトなどたくさんのおみやげを



お渡ししました。

今回もたくさんの皆様の参加、ご協力ありがとうございました！



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



かき氷が大人気 5・6月の食堂

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



5月27日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、子ども72名を含む116名が参加😊。メニューは、HLTサンドとあんバターサンド。信州ハム様、LA春山様、はやしや様のトマト、パロー様・サンドック様のパンの耳などの食材提供をフル活用しました！😊 エクセラン高校生がわたあめ、ポップコーン、かき氷を作ってくれました！今年初のかき氷は大人気のあまり用意していた氷があっという間に終わってしまい、急ぎよ追加で氷を用意したほどでした！😊。



今回もいっぱいのお土産！サンエイ様のお菓子や玄向寺様のドーナツ、いろは堂おやきやティンカーベルのお菓子、野菜やお米などをいただき、「ありがとう」と感謝の声😊!!。ボランティアの皆様も本当にありがとうございました😊。



6月24日(土)は、子ども72名を含む128名が参加😊。

メニューは、釜玉風パスタと新鮮トマトと牛乳でした😊キューピー様釜玉ソース、信州ハム様ベーコン、はやしや様トマトの食材を活用😊！ボランティアさんが奮闘し大量のパスタを茹でてくれ、彩り抜群のお昼が完成！エクセラン高校生が今回もサンドック様のパンの耳の食材提供をフル活用してくれました。



長野畜振様の美味しい牛乳など飲みながらの「大きな絵本の読み聞かせ」に大喜び！😊エクセラン高校生のバルーンアートにビーズ制作では、子どもたちがカラフルなプレスレットを作り、うれしそうに腕に付けていました😊

かき氷は今回も大人気！色々な味を楽しんで笑顔いっぱいでした！サンエイ様、玄向寺様、いろは堂、いつも子ども達のためにありがとうございます😊

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



食育共食の定番カレーと 室内と外で遊びがいっぱい

木島平村 木島平こどもカフェ

7月8日(土)、第13回木島平こどもカフェを開催しました。降水確率90%の雨予報でしたが、子ども90人を含む129名の参加で、子どもたちのパワーが届いた



のかスッキリと晴れ、外遊びも内遊びも思う存分楽しめた様子でした。

NPO ホットライン信州 や 長野県社協よりお菓子をいただき、受付で配布しま



お昼は、定番のカレーライス、天の川サラダ(スパゲティサラダ)、星空ゼリー(フルーツ寒天)。カレーには、浦山きのこサプライさんのハタケシメジや、石川農園さんのズッキーニ、村内の方からいただいた玉ねぎなどがたっぷり!! 村内の野菜や果物で美味しさも栄養もバッチリで、おいしすぎて3杯おかわりした子もいました。



今回も下高井農林高校の生徒が参加してくれ「バードコール」という鳥の鳴き声みたいな音が出せるおもちゃを作りました!

村内ボランティアさんによる「どんぐりゴマ作り」も大好評でした。



体育館では、ボール遊び・バドミントン・卓球・ロープ遊びなど。外では、グラウンドわくわくクラブ、遊びの出前(大縄跳び・竹馬・こま・ブレイブボード)、チョークで落書帰りなど。

時間が近くなると、自主的に片付けをしだす姿が見られて感動しました。「まだ帰りたくない」なんて嬉しい声も。

次回もお楽しみに。



<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



多様なつながる連携で 不可能も可能にできる

共食でつながるフェスタながの

10月6日(金)、例年開催している「共食でつながるフェスタながの」には、約70名(zoom含む)が参加。

NPO ホットライン信州の岡宮理事の開会ではじまり、1部「行政・企業の力」では、県次世代サポート課の塩原昭夫課長、関東農政局の関口泰雄食品企業専門官、信州ハム(株)堀川善弘社長、長野牛乳(株)瀧本孝宏社長らが登壇し活動事例を紹介しました。



県次世代サポート課の塩原課長



関東農政局の関口専門官



長野牛乳(株)の瀧本社長



信州ハム(株)の堀川社長



2部では、NPO ホットライン信州の青木専務理事が「共食と食育の協働でつながる力！」の重要性について話し、続いて全国食支援活動協力会平野寛治専務が「ミールズ・オン・ホイールズロジシステム」と連携についての説明後に、パネルディスカッションに入りました。

全国食支援活動協力会の平野専務

質疑応答では、丸子福祉会の柳沢理事長が福島県産の海の魚の料理をふるまい効果を上げた事例や、諏訪地域の木村代表が地域のこども食堂への物資の配布、バローホールディングスの栗田さんが各こども食堂の共同運営と物資配布の報告など、皆さんと意見交換をしました。



左上) 丸子福祉会の柳沢理事長
右上) バローホールディングスの栗田さん




右) 諏訪地域の木村代表

多様な人たちがつながる力・連携することで、多大なる成果を上げ『不可能も可能に出来る!』という事を確認した、実りある研修会でした。



<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



物価高騰下 親子でにぎわう 共食・食育フェスタ700名

長野市 信州子ども食堂 - 共食でつながるフェスタ

共食でつながるフェスタ2日目、10月7日(土)の「信州子ども食堂」は、物価高騰などで生活に苦しむ家庭向けに食料品の提供する、約20を超える企業団体が、食育などをテーマに子どもたちが交流できる食育ブースを設けました。開始前から長蛇の列で、子ども480名を含む約700名が参加。家族連れで大賑わいでした。



会場の篠ノ井交流センターでは、物価高などで生活に苦しむ子育て中の親子らがマイバックを持参し、企業などから寄付された野菜やパンなどの食材を詰め、「とても助かります…」と感謝の言葉をいただきました。バルーンアート、駄菓子詰め放題、ポッチャ、JAFによる子ども免許証の発行などの子ども体験会や、ハンドマッサージなど大人向けのもの、ぬいぐるみや服などのフリーマーケットが開かれました。




コロナ禍と物価高で苦労している家族が多い中、相談コーナーで生活状態をお聞きし、必要物資を配布しました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧いただけます



屋外ではテントがはられて、焼きそば、フランクフルト、おやきの振舞い。長野県産のりんごの皮むき大会も行われ、子どもたちは、皮の長さを競い合っていました。



最寄りの、企業や地域のスーパーのバロー、長野牛乳、信州ハム、ライオンズ、ロータリークラブ、八十二銀行、NHKなどが出店協力して来場者をあたたかく迎え、和気あいあいとした雰囲気、子どもたちの歓声と笑顔があふれる「共食フェスタ」となりました。



イベントには、信州の食の魅力を再発見するプロジェクトを進めているNHK長野放送局も参加し、モニターに映したマスコットキャラクターが、カメラで捉えた人の動きと同じ動きをする技術、「まねっこもぐたん」の体験会も行われ、子どもたちはカメラの前で思い思いのポーズをとっていました。



子ども食堂の取り組み知る一環
企業などから寄付された野菜・パン無料配布

まねっこもぐたん
モニターに映したマスコットキャラクターが
カメラで捉えた人の動きと同じ動きする技術

こども園深志で 初のこども食堂

松本市 こども園深志こども食堂



国のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業の中間支援団体となり、認定NPO法人フローレンスの「保育園こども食堂助成事業」を活用し、認定こども園深志でこども食堂を10月と11月に開催しました。

第1回目は10月29日(日)。こども68人を含む120人が参加しました。初めての開催でスタッフも不安と期待の中でしたが、開始と同時に参加者が集まり、用意した120食のお弁当はきれいに終わりました!



参加者はこども食堂に初めて参加する方が多く、「こんないただけるのですか!」「いろいろただけて助かります」「ほかにこども食堂はありますか?」など、こども食堂を多くの方に知っていただくことができて良かったです。



第2回目は11月19日(日)。1回目より50人ほど多い参加人数で、子ども88人を含む168人が参加しました。前回参加した方が友だちを誘ってくれたり、おいしいちゃんがお孫さんを連れて



参加してくれている様子も見受けられました。

開始時間前から順番待ちの列ができ、用意した120個のお弁当は30分足らずで配布終了になってしまいました。これにはスタッフもびっくりでした。

物資をもらったあと、こども達はクイズを解きながら防災対策体験したり、保育園の遊具でお友だちといっしょに楽しそうに遊んだりしていました。

こども食堂が保護者にもこども達にも、来て楽しい居場所だと思ってもらえるとうれしいです。



＜編集＞信州こども食堂ネットワーク事務局

信州こども食堂ネットワーク中南信地域

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



色々な体験も楽しみな 月 6 回開催の食堂

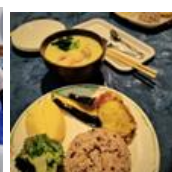
松本市 信州みんなの食堂

「信州みんなの食堂」の11月は、水曜日の夕方6回と日曜日の昼の6回開催し、子ども175人を含む274人が参加しました。



1日(水)は甘柿をおやつに出したところ、「どうやって食べるの?」と、柿とにらめっこしたままの子たち。「どれにしようかな♪」と選ぶ楽しみとともに、自由に食べてもらいました。

細巻きは、巻き方を教わりながら子どもたちが作りました。夕食にはすべて食べきるほど大盛況でした。



8日は寄付で届いたバウムクーヘンをおやつに、宿題に取り組む子どもたち。宿題をしない子には、おかわり用のバウムクーヘンを切り分けてもらいました。



15日は英会話講師の方が食器類を届けてくれました。居合わせた1年生3人は知っている英単語で懸命に話しかけ楽しい時間を過ごしました。メニューは、生トマトたっぷりハヤシライス。3回おかわりした小学生も。さらに、バナナを食べたい子が自分でカット。スタッフやお姉さんたちに見守られ、小学1年生も上手に切れました♪



19日(日曜日)は10時開催。赤い羽根共同募金により普段の活動ではできない体験活動ができました。牛、豚、鶏肉を焼いた後の熾火で焼き芋を作りました。「カルビ初めて食べました!

おいしかったです!」と、スタッフ参加の高校生が嬉しそうな笑顔を見せてくれました。サツマイモはしっとり焼き上がり、心もお腹も大満足でした。



22日は天体望遠鏡で月と星の観察をしました。

長野県地域振興局の職員さんや「こどもの居場所づくり」プラットフォーム関係者など14人が見学に訪れました。地域に住む多くの方々に関心をもっていただけてうれしいです。



29日はクッキーを食べながら宿題やる子や遊ぶ子。食事の前には、絵本を2冊読み聞かせ。配膳には園児が加わり、せっせとお手伝い♪小さい体が頼もしく見えました。「長野ろうきんNPO自動給付システム」助成金で床を修繕しました。足元つまずく危険性がなくなり、安心して過ごせます。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

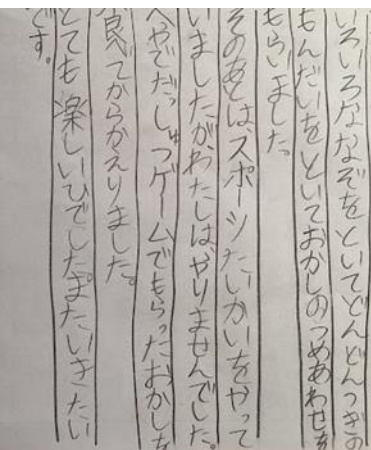
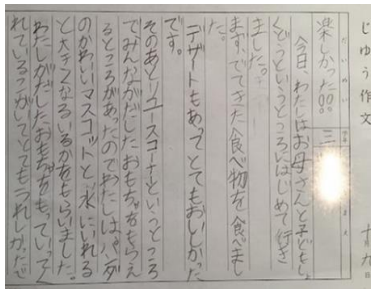
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



毎回楽しみいっぱい 家庭や学校でも話題に

箕輪町 Pur みんなの学校

11月の「Pur みんなの学校」は、6日(月)にパントリーを実施しました。NPO ホットライン信州からいただいたさつまいもで大学芋をつくって配布しました。寒くなってきたのでトッポギとラーメンを入れた鍋もつくり、温かくおいしくいただきました。



リユースルームは、子ども食堂開催時と毎週月曜日 10 時～17 時にオープンしています。お宝さがしみたいで楽しいと、子どもたちからも大人気です。

11月23日(祝)は、子ども食堂。子ども40名、大人30名の総勢70名が参加。綿あめ、お米のひもくじ、トッポギ入りのラーメン、アルファ米のおにぎりも大好評でした。



うれしい写真が届きました。宿題の日記に子ども食堂のことを書いてくれ、学校でも子ども食堂が話題になっているそうです。

キッズフリマを同時開催し、とてもたくさんのご家族が訪れました。射的をしたり、使わなくなったものを売ったりしてSDGsを学びました。

<編集> 信州こども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



明るく笑顔で 新年を迎えて

松本市 年越し信州子ども食堂 in 島内



12月30日(土)、「年越し信州子ども食堂 in 島内」を松本市島内公民館で開催し、子ども112名を含む約218名が参加しました。「長引くコロナ禍と急激な物価高騰で苦労している子どもと家族が年末年始を明るく笑顔で迎えて欲しい!!」と、本格手打ち年越しそばを提供したのをはじめ、温かうどん・高野豆腐・お米・ドーナツ・たまご・お菓子・野菜・生活用品・生理用品など支援物資を配布しまし



市民タイムス 2023年12月31日(日)

た。

東方そばの会同志会様の「年越しそばの持ち帰り用」と「あったかうどん」などが振る舞われました。

「なでしこの会」の中
田優子・木曾部会長ら
が8セット約30人分を
届けた。宮木園長は
「昔ながらの習わしに
触れる機会にもなる」
と応じた。
(向山 均)

温かい食事で笑顔に

松本で年越し子ども食堂

松本市寿北5のNP
O法人ホットライン信
州は30日、同市島内公
民館で「年越し子ども
食堂」を開いた。新型
コロナウイルス禍や物
価高騰の影響を受ける
島内地区の東方そば
の会同志会が打った持
供した。



松本市在住で小学生の
子供2人と一緒に訪れ
た母親は「いろいろな
提供された温
かいうどんを
食べる来場者
物をいただけ
る」と感謝し
ていた。
同法人の青木正
照専務理事は「個
人や企業から善意
で提供品を寄せて
いただいた。生活苦の
方々が厳しい物価高を
乗り越えてくれたら」と願っていた。
(石川 鮎美)



エクセラン高校生による綿あめとポップコーンの配布もあって多くの子どもと家族の笑顔があふれていました。

＜編集＞信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



マスコミも注目 年末年始の取組

松本市 信州子ども食堂 in 松本学び塾



11月25日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in 松本学び塾」は、子ども86名を含む132名が参加。メニューは、スープ餃子・おにぎり・おやきなど。スタッフは餃子づくりに熱中していました！



公園では、紙芝居やおさがり会、綿あめなど。お菓子のプレゼントに子どもたちは大喜び。

お母さんたちも、JA様からのお餅やお米、おやきに野菜など、たくさんのお土産を手にとり嬉しそうでした！
ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



12月23日(土)は、子ども96名を含む142名が参加。メニューは、お寿司ランチなど5種類のお弁当、パフェ、厚海様の手作りXmasケーキなどでした！大原学園のロビーを借り、みんなでお腹いっぱいXmasメニューを食べました！




公園では紙芝居やおさがり会、綿あめなど。サンエイ様やサンタクロース、トナカイからのXmasプレゼントに子どもたちは大喜び！お母さんたちもJA様からのお餅やお米、食パン、おやきに野菜など、たくさんのお土産を手にとり嬉しそうでした！ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



子どもたちへのプレゼントにお菓子を袋詰めする様子が、2023年12月24日の市民タイムスに載りました。



クリスマス用お菓子贈る

松本子ども食堂 大原学園で

NPO法人ホットライン信州が主催する「信州子ども食堂インまつもと学び塾」が23日から提供された菓子を

松本ケンケイ高等学校へアドネーション同好会・AHD30や、大原学園の学生がクリスマス用に袋詰めをして、子供たちにプレゼントした。生徒たちは、スナック菓子を透明なビニール袋に入れ、赤いひもを結んで贈り物にした。同好会は、活動を応援する団体から受けた支援金のうち余剰分をホットライン信州に寄付もした。部長の黒田香椰美さん(17)は「子供たちが喜んでくれたらうれしい」と話していた。

子ども食堂は松本駅前記念公園で開いているが、寒空のため同校ロビーを厚意で借りた。親子が提供された弁当やデザートを食べた。大原学園の学生が準備や片付けを手伝った。(真田尚子)

1月27日(土)は、子ども98名を含む148名が参加。メニューは、牛丼・寿司・玉子・トマトなどの数種類のお弁当。大原学園のロビーを借り、エクセラン高校生による紙コップ工作は、子どもたち楽しさいっぱい。この日は、テレビ信州が取材に訪れた。



公園では、「地震が起きたらどうするか」の紙芝居やおさがり会、綿あめなど。サンエイ様のお菓子のプレゼントに子どもたちは大喜び！お母さんたちも、ご寄贈の手提げ袋に、お餅やお米、瓶牛乳・野菜など、たくさんのお土産を手に嬉しそうでした！ご支援いただいた皆様ありがとうございました。



いつ起きても、おかしくない…地震対策について、子どもたちによる紙芝居と、非常食の実践をしました。



過去最高の参加 大盛況で長い列

松本市 信州子ども食堂 in バロー南松本店



1月14日(日)、松本市のバローで開いた「信州子ども食堂 in バロー南松本店」は、参加者234名(うち子ども124名)と、前半・後半とも大賑わいでした。



メニューは、手作りおはぎとバローパン、豆腐に牛乳、綿あめ、アイス。
お菓子釣りゲームや中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気。「こども広場」では、高校生らによるカレンダー作りや紙芝居、カルタを子どもたちが楽しんでいました。



帰りは、お米やトマト、お菓子などの食材を無料配布。「物価高騰の中、とても助かります」と、感謝と喜びの言葉をたくさんいただきました。



2月11日(日)は、過去最高の参加者約380名(うち子ども264名)と、店内に長蛇の列が続きました。



メニューは、手作りホットケーキとバローパン、豆腐に飲み物。今回は、ピザーラ様からのピザ52枚416ピースの寄付もあり大盛り上がりでした。美味しいピザを食べながら、中学生が作るバルーンアートは子どもたちに大人気でした。



「こども広場」では、エクセラン高校生らによる飛び出すカード作りや紙芝居、カルタを楽しんでいました。

<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



物価高騰で家計助ける 物資配布に長蛇の列

長野市 信州子ども食堂

1月20日（土）、長野市の「信州子ども食堂」は、長蛇の列。子ども188名を含む280名が参加しました。メニューは、つきたてお餅4種（あんこ・きなこ・ごま・いそべ）を楽しみました♪ また、子どもたちが大好きなピザラさんがピザをなんと50枚もご寄贈くださり、みんなでおいしくいただきました。



フードパントリーの物資は、パンやお米、鏡もち、カレールー、ベーコン、ハム、チーズ、大きなトマトと有精卵の玉子など家計を助ける物資の数々、ご協力くださった皆さまありがとうございました。



毎月、子どもたちが楽しみにしているサンエイさんは、駄菓子屋さんを開いてくれました。思い思いに好きなお菓子を選ぶ楽しみは貴重な体験でした。また、災害用支援物資を展示、配布し、災害に対する備えを共有しました。



2月17日（土）の参加者子ども210名含む310名、メニューは、ご寄贈のあったパンと卵、ジャム、ジャガイモなどをふんだんに使ったサンドイッチ弁当でした。フードパントリーの物資は、パンやお米、鏡もち、カップ麺、鍋つゆ、野菜、ティンカーベル様のたまごパン、ヤクルト様のドリンク。子どもたちは、紙芝居やぬり絵、実際に防災用品を手に取りながら防災について学びました。また、リコー様がフードドライブで集め食品なども子どもたちに渡しました。サンエイ様のお菓子やアメすくいも大好評でした！



ろうきん長野本店より、車載用冷凍冷蔵庫をご寄贈いただき、贈呈式を行いました。生鮮食品やアイス等の保管に活かさせていただきます。ご協力くださった皆さまありがとうございました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



ぬり絵に紙芝居 たくさんお土産

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



2月24日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、子ども98名を含む145名が参加。長蛇の列ができました。

メニューは、海鮮丼や牛丼とお吸い物。玄向寺さん(下写真右)がお菓子と果物、洗剤などを届けてくれ、ティンカーさん(下写真左)が玉子パンを届けてくれました。



大原学園のロビーでは、キューピー様からいただいたイースターのぬり絵を楽しみました。



エコバッグに1.1能登半島地震で被災された方々へのメッセージを書きました。



公園では信大生による「突然の災害にどうする」の紙芝居やおさがり会、サンエイ様のお菓子のプレゼントに子どもたちは大喜びでした。



お土産は、お米、野菜、トマト、アイス、鍋つゆ、ドーナツ、カップ麺、瓶牛乳など、たくさんの品物を手にうれしそうでした！ ご支援いただいた皆様、学生ボランティアさん、ありがとうございました。



信州子ども食堂 in 松本 学び塾 をテレビ信州が取材



共食と調理に勉強に ゲーム・遊びも楽しい

松本市 笑和はうす

松本市の「笑和はうす」こども食堂、2月は10日（土）と25日（日）の2回開催。あわせて子ども40名含む72名が参加しました。



10日は、大好評の調理活動。チョコチップクッキーとクリームチーズのコロコロボールを作りました。ホットケーキMIXに、油と牛乳、チョコチップを袋に入れて、こねこねし、好きな形に成形。ハートやうさぎの形にする子もいて、美味しいクッキーが焼き上がりました。



その後も、学習の時間やスクリーンのゲームや体操で楽しい時間が過ごせました。

メニューは、トマトの炊き込みご飯、ツナサラダ、コロッケ、ウィンナー、ほうれん草の胡麻和え。デザートには、シャトレゼさんのケーキ。

お土産には、NPO ホットライン信州からのエリゼ、ヤクルト、トマト、野菜、りんご、と盛りだくさん。笑顔いっぱいの笑和はうすでした。

25日は、囲碁ボールやモルック、ボーリング、輪投げを用意。小さい子から大人まで体を動かしました。初めて挑戦する子も多く、ワクワクがとまりませんでした。

勉強時間も、習慣化してきて、みんな真剣に取り組んでいました。



メニューは、カレーピラフ、春雨サラダ、鶏肉のマーマレード焼き、かぶの煮物、ほうれん草炒め、たまごサラダ。地域の農家の大和田さんが、採れたてのかぶとほうれん草をたくさん届けてくれたので、さっそく使いました。



市民タイムス 2月28日(水)

笑和はうすの運営担当
大久保葉月さん (38) 新村

子供たちの居場所 **こんにちは**
所づくりに取り組む「笑和はうす」は新村公民館で活動している。調理体験をしたり、工作をしたりして参加者は和気あいあいと過ごす。昨年末には

子供の居場所つくる
皆であんこやきなこの餅も味わった。楽しさや喜びを伝えてくれる子供の言葉を聞くと、やりがいを感じる。「誰でも来ることができる場所にしたい」と思い描く。



<編集>信州こども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



2024.1.1 能登半島地震、水・物資が不足！ 過酷な状況緊急支援

NPO ホットライン信州の年末年始 24 時間無料相談中、2024 年（令和 6 年）1 月 1 日 16 時 10 分能登半島地震（石川県の能登半島地下 16 km で発生した地震の気象庁マグニチュード M7.6 は、石川県輪島市門前町走出と同県羽咋郡志賀町香能で震度 7）が起きた。

その数分後、当事務所も相談中に震度 3 程度の揺れが起きた。



ホットライン信州は、直ちに支援物資の配送に準備に入った。

携帯電話は、一斉に鳴はじめ、次から次と…地震の様々な相談が入ってきた・・・。



NPO ホットライン信州 ♡ 2024・1.1 能登地震被災者支援物資送る

2024 年 1 月 1 日能登半島を襲った大地震を受け、NPO ホットライン信州は、直ちに被災者支援に向けた 4 つの支援物資を 1/2 日確保。4 日(木)テレビ信州で放映・5 日(金)信濃毎日新聞・市民タイムスに掲載されました。



▲ NPO ホットライン信州 本部事務所



▲ NPO ホットライン信州 塩尻事務所



被災地支援 民間からも

ことも食堂の運営・支援をする松本市寿北 5 の NPO 法人ホットライン信州は、生活物資を送る準備を進めた。食料品や子供用の肌着など必要とされそうな品をリスト化し、現地行政や団体からの要請に備えている。青木正照専務理事（74）は「長期にわたって支援をしていけたら」と先を見据えた。



今も余震が続く中、不安な生活が続く被災地。県内からも食料や生活用品など支援の動きが広がっています。県内各地で子ども食堂の運営などにあたっているNPO ホットライン信州。4日は、被災地支援に向けて食料や生活用品などをまとめていました。



NPO ホットライン信州「受け入れ態勢が被災地でどの程度できるか問題があるが、態勢さえできれば、今ある物資を早急に送れるような態勢をいくつかつくりたいと思っている」 当法人では日頃から子ども食堂などに使う物資を企業や団体などから提供を受け、備蓄しています。

これまで東日本大震災や熊本地震などでも被災地に送ってきました。支援物資の中には、食料や生活用品のほかにも簡易用のトイレなど、防災用品も準備しています。

NPO ホットライン信州「子ども用のおやつみたいなのも。子どもの喜びの顔がみなさんの子どものために頑張らなければという、生きる活力につながっていく」



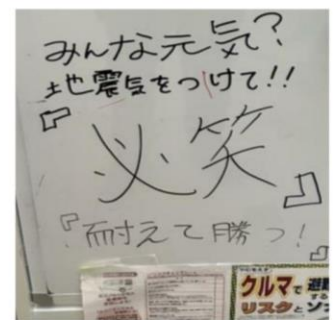
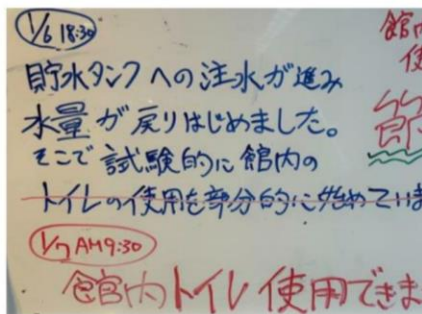
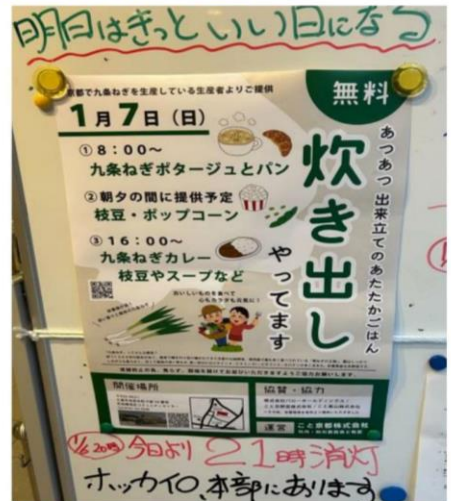
被災地へ信州からも支援の輪広がる NPO ホットライン信州

♡♡ 1.1 能登地震被災者 支援物資送る !!

食料品や生活用品送る体制ができ、能登半島地震の発生から6日目。6日朝も震度5強の揺れが被災地を襲い、不安と隣り合わせの生活を強いられ、今も断水が続く七尾市1/5時点で、600名以上避難されている矢田郷コミュニティセンターに入っている、1/7日の朝夕食を提供するパローの栗田一成さんからの情報が刻々と伝えられています。

「同じ場所に泊まりましたが、長椅子や床で寝ている方も多く、不審者もいるようで、疲れも取れず、お風呂はまだ全然入っていない…安心もできない環境です。」また、「炊き出しをやってる方も、自営業をやっていたが、お店も自宅も半壊して…、手が出せない、とりあえず避難したが、やることがないので、自分のできる料理を精一杯やっているとのこと。数百名の朝晩の料理は、大変であり寝れていないようです。」

等々早急支援が必須のようです。



NPO ホットライン信州 ♡♡ 2024・1.1 能登地震被災者支援物資送る

1月7日(日)、600名以上避難されている、新潟県七尾市矢田郷コミュニティセンターに、除菌ウェットティッシュや 冷えピタ、経口補水液OS1、龍角散タブレットなど6セット(右写真)を送りました。

また、新潟県上越市のPO法人体験型フリースクール様から14箱配送された。



松本市玄向寺さんは、9日頃被災地に入ることが支援物資を届けていただくことになりました



能登半島地震1週間→食事も物資も不十分過酷は続く!!

昨日7日の支援



物資-8日受取る

パローの栗田と申します。パロー南松本店で信州子ども食堂に菓子パンなどを提供しております。繋がりのある、七尾市に地震が襲い、1月7日の朝夕食を提供しに12名で七尾市に入りました。炊き出しだけでなく、信州子ども食堂でも実施している綿あめも提供したところ、子どもたちにも自分たちで作ってもらったり、親さんからも好評を頂きました。信州子ども食堂で経験したことをそのまま実施したことが、七尾市の避難者の方が前を向くことができることがよかったです。現地では厳しい状況を数多く見聞きました。我々ができることは、離れていても支援できることを継続し、前を向いてもらえるように、よりそう気持ちを持つことだと思います。

1月7日(日)、600名以上避難されている、石川県七尾市矢田郷コミュニティセンターに支援物資を送る



(被災地のスタッフよりお礼の言葉)
少しの地震でも「また大きいのが来るのでは?」と不安な日々ですが、全国、世界からこうやってくる救援物資を見るたびに「1人じゃないんだ」と心の支えになっております。まさにNot Alone 能登半島は必ず立ち上がります。その時にはぜひ遊びにきてください。その日まで引き続きご支援宜しくお願い致します。本当に感謝です。



1月10日 水曜日 信濃毎日新聞

被災の能登 中信から支援



支援物資を車に積み込む青木さん(右)

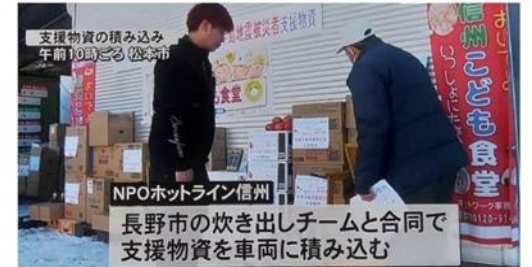
松本市のNPO法人ホットライン信州は9日、石川県穴水町の炊き出し支援に向かう長野市の飲食店「炭火焼肉ジンギスカンもんも」のオーナー

現地へ必要な物資託す

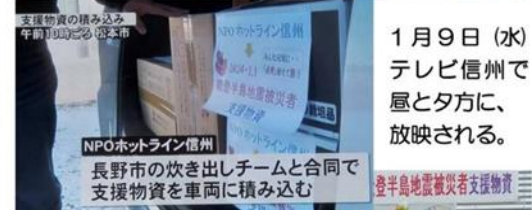
松本のNPO ホットライン信州



NPO ホットライン信州は、9日(火)支援物資を長野市の炊き出しチーム(もんも食堂)に、新鮮なトマト等物資をボックスカーにいっぱいに積み込み、被災地に向かった



支援物資の積み込み 午前10時ごろ(穴水町) NPOホットライン信州 長野市の炊き出しチームと合同で支援物資を車両に積み込む



支援物資の積み込み 午前10時ごろ(穴水町) NPOホットライン信州 長野市の炊き出しチームと合同で支援物資を車両に積み込む

1月9日(水) テレビ信州で 昼と夕方、放映される。

NPO ホットライン信州

みんな元気に… 「必笑!!」耐えて勝!!

2024・1.1 能登半島地震被災者 支援物資

要な物資を提供できるようにと準備。星野さんが同町側から不足している物資を聞き取り、青木さんに相談。9日朝に松本市で物資を積み込んだ。星野さんは「温かい食べ物をお届け、少しでも元気になってほしい」、青木さんは「何とか力になりたい」と力を込めた。

みんな元気に… 「必笑!!」耐えて勝!! Not Alone 能登半島は必ず立ち上がります。



私たちが力になってくれるだけ 支援していきたいという気持ちでいっぱい



NPO ホットライン信州は、1月6日と17日に、上田市のまるこ福祉会(こども食堂きらっと)の防災や備えの学ぶ催しに参加しました。

1月17日は29年前、6400人以上が犠牲となった「阪神・淡路大震災」が発生した日です。NPO ホットライン信州は、上田市のまるこ福祉会(こども食堂きらっと)の防災や備えの大切さを学ぶ催しに、参戦し!!、「突然の災害に備える!!」知識を発信しました。

2024年1月17日(水)NHK テレビで放映された



NPO ホットライン信州は、「突然の災害に、私はどうする!!」と問いかね、災害時での食糧備蓄の必要性やトマト・たまごなど食べ物や食べ方などを説明した。



被災地-能登で信州子ども食堂炊出し 能登被災地に支援物資が届き活用される！

3月4日(月)～7日(木)まで、信州子ども食堂「信州レスキューキッチンカー」が能登輪島市被災地で炊出しと物資の配布を行いました。😊



3月5日(火)昼に避難所の輪島市立門前中学校にて、牛しぐれ煮うどん、おやきを100食提供。タオル、化粧品、コーゲンドリンク、避難所の老人ホームゆきわりそうにて、うどんとおやき60食提供。避難者の皆さんから、「とても美味しかった」「化粧品をどうもありがとうございました」とお礼をたくさんいただきました。



3月4日(月)NPO ホットライン信州松本本部から能登半島地震の被災地支援物資の詰め込み作業を信州レスキューキッチンカー3人が行った。物資は、おやき・肉まん・国牛しぐれ煮・トマト、水・ドリンク・タオル・化粧品・生理用品など約700キロ積み込み3/7日までの4日間の炊き出しを行いました。



うどんトマト、おやき が好評で笑顔！



能登半島地震の被災地に支援物資を送るメンバー

松本市寿北5のNPO 震の被災地に支援物資を届ける。O法人ホットライン信州は4日、能登半島地震の被災地に支援物資を送った。同法人が支援することもある信州子ども食堂の実地。物資を使った炊き出しなどで石川県輪島市の被災者に届ける。

県内外の支援者が同法人に寄せたタオルや化粧品、生理用品などの衛生用品のほか、水や米、野菜などの食料を車2台に積んだ。同法人が支援する「信州レスキューキッチンカー」のメンバー3人が車で輪島市に入り、5日から7日まで、市内の避難所や福祉避難所で炊き出し活動や物資の配布をする。

信州レスキューキッチンカーの菅原久美子さん(44)「池田町会染」は「避難が長期化する中で、被災者においしいものを食べてもらい、頑張ろうと思えるようになってほしい」と話していた。

(久保田貴大)

3月7日の炊き出し情報
会場：マリタウン入口の中浦屋さん

朝7時より
信州あぶり肉まん

朝11時半より
国牛しぐれ煮まぜうどん
信州おやき

午後1時に終了

ご提供

信州レスキューキッチンカー
NPOホットライン信州
子ども食堂ネットワーク



3月6日(水)福祉避難所の門前かえでの家、うどんを80食提供。スポーツドリンク3箱、チキンライス2箱、生理用品2箱、除菌ウェットティッシュ5箱を寄付しました。



3月7日(木) 輪島朝市にて、自宅避難者に対して、肉まん200食、うどん88食を提供。米、水、エリゼ6箱、トマト、ネギ、トイレトペーパー、スポーツドリンクを寄付。自宅避難でも上下水道が使えない状況。「遠いところから輪島に来てくれて本当にありがとう」とお礼をいただいた。



スポーツドリンク3箱、チキンライス2箱、生理用品2箱、除菌ウェットティッシュ5箱を寄付しました。



炊出しを待ちわびる、開始前に並び被災者の皆さん

3月5日(火)私どもの仲間「炊き出し隊みらい」が輪島市で被災者に食事を提供、NPOホットライン信州提供の「おやき」が喜ばれている (SBCテレビで3月8日放映)



輪島市の住宅半数以上が全壊しそのまま放置(3/5時点)



コロナ禍と物価高騰での活動!

たべものをすてるのは もったいない! フードドライブ のしくみ



いただきます

長野県庁や市役所、また、ライオンズクラブなど多くの皆さんより集めます



うち お家やお店、会社やなどから



ありがとう

ご家庭や子ども食堂などへ



さしあげます



とてもおいしい
ありがとう

明日を開く 3つの意義



SDGsの“環境の上に社会・経済が成り立つ”

いまこそ①環境保護、②社会的包摂、③経済開発 (SDGsの持続可能な3要素) の考えのもと、弱い立場にいる人のことを同じ立場で理解して、環境や人権を理解し、子ども食堂を通じて持続可能な地域を社会をつくる時



特定非営利活動法人 NPOホットライン信州「信州子ども食堂ネットワーク」は国連がめざすSDGs (持続可能な開発目標) を支援しています



コロナ禍における、フードドライブ ・フードバンクにフードパントリー

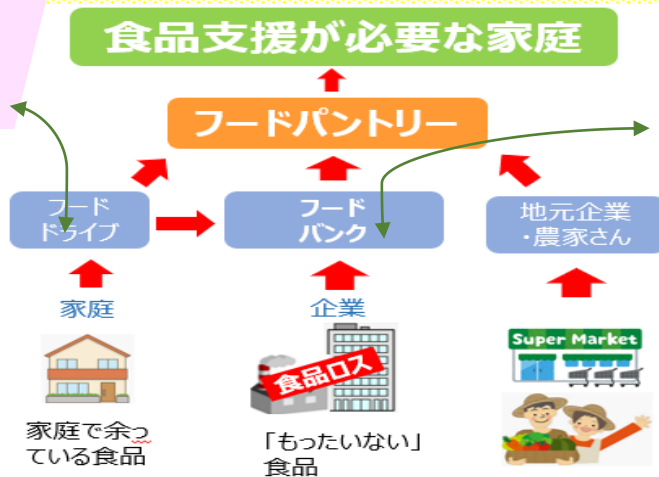
フードパントリー
ってなあに？

食材を配布する場所(NPO ホット
ライン信州・信州子ども食堂)です。



フードドライブ
ってなあに？

集まった食品
を、食事に困って
いる人や子ども
食堂に届けます。



フードバンク
ってなあに？

おうちで眠って
いる食品を持ち
より集め福祉団
体に寄付します。

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレー！ フードドライブ信州子ども食堂応援リレー

フードドライブ&パントリー


日時 2024年4月13日(土)11時
場所 長野県松本合同庁舎

日時 2024年5月3日(土)11時
場所 長野市役所第一庁舎1階

ご寄贈していただきたい品物

【食品】菓子、缶詰、レトルト食品、インスタント食品、カップ麺など

【お問い合わせ先】フードドライブや子ども食堂のこと、支援のご希望やご相談などもおよせください

主催 :特定非営利活動法人 NPOホットライン信州(信州子ども食堂ネットワーク事務局)
〒399-0011 松本市寿北5-4-28-1  0120-914-994



こども食堂のつくり方

こども食堂には、いろいろな形と多様性がありますが、「こうでなければ」という決まりはありません。

「なにかをはじめたい」という方のために「こども食堂のつくり方」のイメージを簡単に紹介します。

まず 準備として
イメージしてみましょう

- 月に何回開くか
(月 1~2 回が多い)
- 1 回の利用者数は何人か
(1 回 20~30 食が多い)
- どんな人に来てほしいか
(子ども・親・サポーター)

他地域の実施例を見学

「長野県各地の『こども食堂』」を参考に、お近くのあるいは自分の思いと共通するような場所へ見学に行ってみましょう
(公民館・お寺・個人宅など
数カ所見学)

よし！ やってみようと思ったら、まず **実行**

仲間を集めましょう

開催の周知や会場の準備、食材の手配、料理、片付けなど、仲間と分担するのがおすすめ

「場所とネットワークを」はじめてから仲間や協力者が増えていくこともあります(食材を提供する方、調理師・栄養士の方、資金の提供者やボランティアの募集)

<実際に考えるあれこれ>

● **場所**
公民館などの公共施設、お寺、個人宅、飲食店など。利用者数にあわせて、無料または安価で利用でき、こどもたちが集まりやすいのが良い。

● **運営費**
場所代、光熱水費、食材費(子ども無料・大人100~300円のカンパ)、チラシ作成などの宣伝費

● **周知・呼びかけ**
こどもたちへどのように知らせるか。どんな人に来てほしいか。どんなチラシを何枚作り、どこへどのように配るか。

● **当日の運営方法**
準備の開始から調理、片付けまでの段取り。食事提供以外の企画。役割分担。総括と次回への活用。

信州こども食堂ネットワーク保険加入について

NPOホットライン信州では、こども食堂の活動への参加者を対象とした賠償責任保険と障害保険に加入しました。対象者は、信州こども食堂への参加者(子ども、親、スタッフボランティアなど)が対象となります。

保険内容

賠償責任保険	身体財物	2億円
	管理財物	50万円
	人格権侵害	50万円
	事故対応費用(1事故・保険対応中)	500万円
	見舞費用 死亡	50万円
	後遺障害	2万円~50万円
入院日数に応じて2~10万円/通院日数に応じて1~5万円		
傷害保険	死亡保険金額	500万円
	後遺障害保険金額	500万円~20万円
	入院保険金額	5,000円
	手術保険金額	入院保険日額の5、10倍
	通院保険日額	5,000円

こども食堂に参加・活動していて・・・



怪我をしたとき、させたとき 食中毒等にかかったとき



保険の適用される条件として、信州こども食堂として活動していること
・開催の事前報告必須(当法人一覧表に明記)、チラシに「共催 NPOホットライン信州」だと完璧
・開催後の人数報告必須(子供・大人・スタッフ)、報告書や写真があれば完璧
・信州こども食堂ネットワークでの「各こども食堂」への参加と食材・機材等の運搬などとなります。

子ども支援リレーの充実
「子ども用品・服などの無料提供と食品・子ども用品寄贈募集受付の検討」

《重要》 安全に細心の注意を！

こども食堂をはじめめるには、特別な資格はいりませんし、届け出を出す必要はありませんが、食べものを提供する以上、その安全には細心の注意が必要です。

信州こども食堂ネットワークでは、調理上の注意などをまとめた「衛生マニュアル」や「こども食堂サポートセンターの安心手帳」を推奨しています。



不測の事態に備えた保険加入は「ホットライン信州」

信州こども食堂ネットワークが応援します

運営方法はもちろん、県民や協力企業などからご提供いただいたお米・食材や子ども用品の分配、チラシの作成とNPOホットライン信州ホームページでの周知、「信州こども食堂ネットワーク便り」の編集、指導員・専門家の派遣など、「なにかをしたい」みなさんを応援しています

“もったいない”を“ありがとう”の笑顔につなぐリレ

コロナと物価高に勝つ!おもしろいやり心

信州こども食堂応援リレーの紹介

「信州こども食堂」は、全国食支援活動協力会・全国フードバンク推進協議会を始め、協力団体・企業・お寺・個人など、多くの皆さまのご支援を賜っております。

お寄せいただいた寄贈品は、各地の「こども食堂」と必要とされている方への支援に生かしています。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。「信州こども食堂ネットワーク便り」

「SNS」等で掲載した一部を紹介させていただきます。(順不同・敬称略)



物価高を!おもしろいと
支え合う心で乗り切ろう!

いただいた食材をフル活用する信州こども食堂ネットワークの各食堂

「信州こども食堂ネットワーク」の各こども食堂では、県内外でご寄贈いただいた食材や食品を無駄なく活用しています。

また、余った食材などは、必要としている、子ども世帯の家庭に持ち帰っていただき、家族での食事などで活用して頂いております。

2023年6月~2024年2月までの当法人の取り扱い量は、**109万点・216t**のご寄贈品と配布させていただきました。

多くの皆様方のご支援ご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



「信州こども食堂」で、食材を有効に使いながら、子どもたちと一緒に、美味しく食べています。

全国フードバンク推進協議会や全国食支援活動協力会を通じて全国各地の企業様団体・個人様から、多くのご寄贈品が届いています。

ご寄贈していただいた、支援物資は「信州こども食堂ネットワーク」や「フードパントリー」を通じて、支援が必要な家庭に渡り、子どもと加須間の笑顔に変わっています。



子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

♥あしながおじいちゃんから ご寄付を戴きました

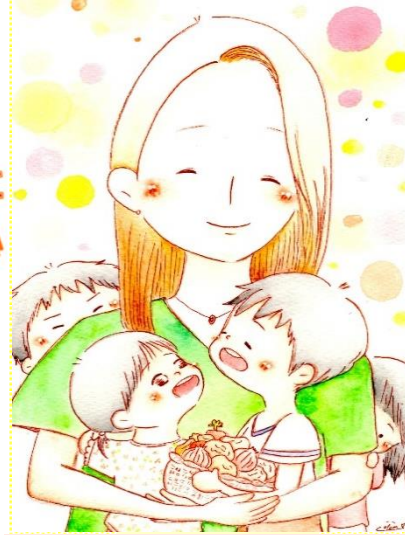
この度は、あしながおじいちゃんや MF、US、MK さんから「コロナ禍の影響で苦労している子どもたちのためにと.....」
ご寄付を戴きました！
ありがとう
ございました。
愛・ラブ・ユ〜

ご寄付を戴き、感謝のお手紙です。

皆様のご寄付で、子どもたちが安心して生活するために必要な活動を通じて、多くの子どもや家族が救われ笑顔が増えています。



みんなで「おじいちゃん」感謝のポーズ。



女神さまは以下の方々です
TI/EI/SI、KY、KK、TM 様

女神さまから多くの「ご寄附や
ギフト・図書カード等をいただき
ておりまこと感謝しております。

(株)サンエイさんから「夢チャリティー寄付金」や「ボランティア活動」のご協力

昨年に続き、今年も株式会社サンエイさん社会貢献運動 SDGs の活動から「夢チャリティー贈呈式」にて寄付金を戴きました。また、社員の皆さんは、毎月信州子ども食堂長野・松本へのボランティア参加していただき、おかし詰め放題！わなげのゲームなど子どもと楽しんでいただいています。



(株)ジンコーポレーション(アポロ)のご協力に感謝!!



食品ロス削減と社会貢献
広がる子ども食堂支援

お客様の温かい気持ちが
子どもたちに伝わってくれたらと思います。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～ 心と心がかよう 信州子ども食堂

マルハン松本店と川中島店様からご寄贈を受けました

マルハン松本店様と川中島店様からお菓子をそれぞれ戴きました。早速！信州子ども食堂ネットワークと支援物資を必要としている子どもやご家族の方にご活用しています。ありがとうございました。

子どもと家族を支えよう！
一人親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂



株)ジャックス松本支店様より
7月13日(土)米 30キ、昆布だし 4本、お菓子
セットクッキー3箱パイマン 30個、ミルククッキー
2箱、カレーおかき 36袋をいただきました。

富士見の池田さんご両親さんから
ご寄附や図書券を戴いています。

子どもたちは、文具類や参考書などを
買って勉強を頑張っています。



子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

子ども食堂応援プロジェクト佐久穂様から 玉ねぎ 50 ㎏をいただきました。

6月28日(水)、子ども食堂応援プロジェクト佐久穂の佐塚重人様から、玉ねぎ 50 ㎏を当法人に届けていただきました。

早速！長引くコロナ禍と物価高で苦慮している子どもと家族のために、信州子ども食堂ネットワークの各地子ども食堂に順次配っていきます。ありがとうございました。



子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



松本少年刑務所さんから災害用備蓄品 300 袋いただきました。

7月26日(火) 松本少年刑務所さんから災害用備蓄品 300 袋(豚汁 150 袋・コッパン 150 個) 150 ㎏を子どもたちのためにと、お届けいただきました。

早速、コロナ禍と驚異的な物価高の影響で苦労している、家庭と届けております。また、来たる8月6日(日)の信州子ども食堂まつもと(松本合同庁舎)でも配布します。皆さんお気軽にご参加下さい。松本少年刑務所の皆さん、ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様より子ども用学習机をさし上げます。



7月1日(土)松本市の玄向寺さんが お檀家様より子ども用学習机を頂戴しました。子ども用学習机は、写真をご高覧ください。サイズは、幅 100cm、奥行 65cm、高さ 73cmです。20 年ほど前に使用した中古品ですが、比較的綺麗な状態です。必要な方がいれば、引き取りにお越しいただければ、差し上げます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 長引くコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

ロッテ様から、アイスが、2 万個(約 2t)いただきました
「コロナ禍と物価高騰」に勝つために！各地の信州子ども食堂にて活用



ロッテ様からアイスが、7月10日(月) 塩尻市 150 個～松本市 150 箱、7月11日(火) 上田市 150 箱、長野市 350 箱の約 2 万個以上が届きました。全国食支援活動協力会様を通じて、約 2t の美味しいアイスが届きました。ありがとうございました。

昨今のコロナ禍で物価高騰などで苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食堂」や「必要としているご家庭」に 順次配らせていただいております。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 長引くコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

伊那市の(株)パネックス 長野工場様からパン 2,880 個のご寄贈！



8月25日(木)、伊那市の(株)パネックス長野工場様からクロワッサン 2,880 個(写真)のご寄贈を！受けました。早速！コロナ禍と物価高騰に苦労している子どもと家庭に信州子ども食堂ネットワークを通じて届けさせていただきます。🍞❤️

(株)パネックス長野工場様からの詰め込み

子どもと家族を支えよう！ ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂



塩尻事務所倉庫 受け取り

松本本部事務所倉庫 受け取り

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ 松本市の玄向寺様より、野菜やパームクーヘンなどのお菓子等

8月24日(木) 松本市の玄向寺さんが お檀家様より頂戴しました、パームクーヘンや玉ねぎ・果物・おまんじゅう等約 120、1080 個を、子どもたちのために、夕暮れ時に届けてくれました。

早速、コロナ禍と驚異的な物価高の影響で苦労している家庭と 8月26日の信州子ども食堂 in まつもと学び館を皮切りに各地域子ども食堂で活用します。ありがとうございました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-99 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！ ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

上伊那郡の白心寺さんとお米 30 ㎏、砂糖・お茶・こひー缶、プリンなど寄贈

8月31日(木)、上伊那郡宮田村の白心寺さんから、お米 30 ㎏、砂糖 4 箱・お茶・こひー缶、プリンなど約 50 点を戴きました。

早速！信州子ども食堂まつもと始め、安曇野市、上伊那～飯田地域の子ども食堂、更に・・・生活困窮者支援に役立させていただきました。⇒長野県内外の「おてらおやつクラブ」の皆さんから、毎回「おさがり」として、戴いております。🍵ありがとうございました。



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 0120-914-994 をお願いします。

子どもと家族を支えよう！

長らくコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

子ども食堂応援プロジェクト佐久穂から野菜450*のご寄贈を！



9月6日(木)、子ども食堂 応援プロジェクト 佐久穂(会長佐藤秀敏様)から、ジャガイモ240キロ、カボチャ210キロを当法人に届けいただきました。同会は遊休となっている農地を活用して野菜を栽培し子ども食堂の応援をすることを目的に結成されたとのことです。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-99 お願いします。

早速！コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に届けさせていただきます。❤️ありがとうございます。🙏

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

上伊那の圓浄寺様と KEIZ 松本店様からご寄贈を受けました

コロナと物価高騰で苦勞している子どもと家族に支援を！

9月14日(木)に上伊那郡 宮田村の圓浄寺古縁宗志様より、「おすそわけ」お米15*と玉ねぎ15*(写真)の30*当法人本部に届けいただきました。続く、9月18日(月)、KEIZ 松本店さんより菓子約1200個をいただきました。



また、増えてきましたコロナ感染者と超物価高で苦勞を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族の皆様にご利用いただきました。ありがとうございました。🙏

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994 お願いします。

コロナ禍と物価高に負けない！

ひとり親家庭と生活苦の子ども食等緊急支援

波田の太田さんからりんご660*とお米200*ご寄贈が

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



11月20日(月)と30日(木)波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)2000個660*とお米200*のご寄贈がありました。早速、信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。小粒ですが、とても美味しいです。🙏

ご希望の方は、☎0120-914-994 ご相談の際は、ご連絡ください

美味しいリンゴが各信州子ども食堂ネットワークで配布されています。🙏

信州ハムよりご寄贈

12月19日信州ハムさんより、信州味噌カレー200箱360*を戴きました。信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。



子どもと家族を支えよう！

コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

松本市波田の大月農園さんから「スイカ」をいただきました。

9月9日(木)、松本市波田の大月農園さんから、収穫最後の大きな「スイカ」24玉240*をいただきました。😊
また、昨年の9月にも「なし」1200玉120*をいただき、今年3回目です。
信州子ども食堂ネットワークで、コロナ禍と物価高騰の影響を受けている子どもたちご家庭に宅配をさせていただきます。😊



お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-99 お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

「美味しい クッキー」を1.1万袋いただきました。

9月28日(木)と(株)八十二銀行長野市役所支店で、子ども食堂の勉強会を開催しました。NPO ホットライン信州青木専務は、信州子ども食堂の現状を報告「2020年6月に八十二銀行様からコーゲンレモンクッキーを10.5万袋のご寄贈を受け、多くの子どもと家族の笑顔が溢れた。2回目の今回は美味しいクッキーをいただくことに…」感謝を申し上げます。



コーゲンレモンクッキーを1.1万袋のご寄贈を受けました。

桜井当支店長は、「コロナと物価高騰の影響を受けている子どもたちやご家族の方々に、喜んでいただければ嬉しい…」「各信州子ども食堂や必要としている方に活用して欲しい…」とお言葉をいただきました。🙏 ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様と上伊那の圓浄寺様からご寄贈を受けました。

10月20日(金)に松本市の玄向寺様からお贈りいただきました。ドーナツ600個とジャガイモ20*をいただきました。早速!!長野市で開催した、子ども食堂3カ所に配布させていただきました。ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



▲ 松州子ども食堂で配布

▲ 台風19号被災地「ながとよマルシェ」▲ 郡中 信州子ども食堂で配布

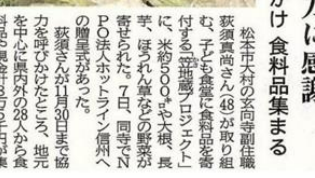
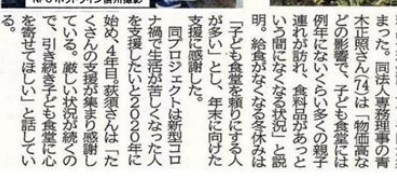
お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994

子どもと家族を支えよう！

コロナに負けないぞ！心と心がかよう 信州子ども食堂

12月8日(金)に波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)1600個330*のご寄贈がありました。早速、信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。小粒ですが、とても美味しいです。

子どもと家族を支えよう！
支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂



玄向寺に寄られた食料品も物資

松本市大の玄向寺住職 萩須真高さん(右)が取り組む、子ども食堂に食料品を寄附る「寄贈品」の箱

子どもと家族を支えよう！

長引くコロナ禍と物価高騰に負けないぞ！信州子ども食堂

伊那市の(株)パネックス 長野工場様からパン 3,000個のご寄贈！



(株)パネックス長野工場様からの詰め込

12月14日(水)、伊那市の(株)パネックス長野工場様からクロワッサン 3,000個(写真)のご寄贈を！受けました。早速！コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に信州子ども食堂ネットワークを通じて届けさせていただきます♡。



米粉入りクロワッサン 3000個



松本本部事務所倉庫 受け取り

お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-99 に お願いします。

(株)小松種鶏場さんからたまご1,890個のご寄贈を！



12月29日(金) 松本市の(株)小松種鶏場様から規格外の玉子 1,890個 210円(写真)のご寄贈を！受けました。早速！明日12/30日(土)島内公民館の「年越し子ども食堂」を皮切りに、コロナ禍と物価高騰に苦勞している子どもと家庭に届けさせていただきます♡。ありがとうございました。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-99 に お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様よりマスク・果物・ドーナツなどを戴きました。



2月18日(日) 松本市の玄向寺さんが お檀家様より頂戴しました、パイナップル、フルーツ、お菓子、ドーナツ、マスクなど約1,000点100円を、子どもたちのためにと、お届けしてくれました。

早速、物価高の影響で苦勞している家庭と信州子ども食堂ネットワークで活用させていただきます。いつもへいつも…ありがとうございました。

お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

フロマーゼアソシエジャパン(株)様から、クリームチーズご寄贈

3月7日(木)にフロマーゼアソシエジャパン(株)さんから、クリームチーズのご寄贈品 1個 1kgで、1ケース12個入りで17ケース204個いただきました。

冷蔵保管した後、必要としている、各信州子ども食堂ネットワークに配付し、活用させていただきます。また、その他にもミニカンパニールやミニプリーも定期的に載っております。昨今のコロナ禍と超物価高で苦勞を余儀なくされ、支援物資を必要としている子どもやご家族のご家庭に、届けております。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994 に お願いします。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

上伊那の圓浄寺様と松本市の玄向寺様からご寄贈を受けました。

12月20日(水)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古縁様より、おすわけとして玄米 100キロ(写真)を当法人本部に届けてくださいました。早速、超物価高で苦勞を余儀なくされ、ひとり親家庭等の子どもに配らせていただいております。ありがとうございます。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994



続く12月21日(木)に松本市の玄向寺寂蓮様からお檀家様より頂戴しました、子ぎや大根、人参など約100キロいただきました。また、おたのびクラブからコスメット(母さん達の化粧品)のセット20箱が玄向寺様に届き、おすわけとして、当法人にご寄贈していただきました。ありがとうございます。

上伊那の圓浄寺様と東京の山口様からご寄贈を受けました。

2024年1月13日(土)上伊那郡宮田村の圓浄寺 古縁様より、おすわけとしてお米90%と砂糖24% (写真)を当法人本部に届けてくださいました。早速、超物価高で苦勞を余儀なくされ、ひとり親家庭等の子育て中の家庭と能登半島地震の被災地へ配らせていただいております。ありがとうございます。



お問い合わせは、ご相談は・・・NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994



2024年1月10日(木)、衣類中心に、12日(金)マスクお菓子など、12日(土)土鍋、フエイトテッシュ(各写真)などをいただきました。早速、能登半島地震の被災地への支援物資として、届けさせていただきます。ありがとうございます。

子どもと家族を支えよう！

支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

キューピーみらいたまご財団様から食材をいただきました。コロナ禍と物価高騰に勝つために！信州子ども食堂に



2024年1月29日(月)、全国食支援活動協会を通じて、キューピーみらいたまご財団様から「マヨネーズ30本84箱2520本・ネギ塩ガリックだれ24本2400本が 松本市本部倉庫に届きました。長引くコロナ禍と物価高騰で苦慮している 子どもと家族のために 活用します。ありがとうございました。県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークのハブ拠点と「各信州子ども食堂」にお問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994 に お願いします。や「必要としている ご家庭」に 順次配ります。

松本少年刑務所様と松本市危機管理部様からご寄贈を受けました。

3月4日(月) 松本少年刑務所様より、「そのまま蒸チキンライス1箱30食の150食をいただきました。早速、4日から、11 能登半島地震の被災地支援へ出発する、信州子ども食堂ネットワークの仲間、信州レスキューセンター」の仲間に物資を託し、被災者の皆さんに食べていただきます。



お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎️ 0120-914-994 に お願いします。



続く3月5日(火)に松本市危機管理部様より、防災備蓄品「液体ミルク400本(16ケース)、粉ミルク288缶(36箱)」を当法人にご寄贈していただくことになり松本市防災備蓄タナへ受取りに行きました。早速!! 信州子ども食堂ネットワーク各子ども食堂に 配らせていただきました。ありがとうございます。

諏訪中央病院看護専門学校3年生の学習会

2023年6月9日(金) 信濃毎日新聞

子ども食堂の役割とは 塩尻 看護専門学校生が現状学ぶ



子ども食堂に寄付された米を、小さな袋に分ける生徒ら

諏訪中央病院看護専門学校（茅野市）の生徒6人が8日、塩尻市片丘でNPO法人ホットライン信州（松本市）が運営する「信州こども食堂おじり片丘」を訪れ、子ども食堂の現状を学んだ。子ども食堂の役割などについて説明を受け、食品を小分けする作業も体験した。

援のために始まったが、居場所をつくる役割も果たしている」と説明。食事を共にする場を設けることで「自殺や犯罪、虐待が起らない社会づくりにもつながりたい」と強調した。

新型コロナウイルス禍や物価高の中、生活に困窮する人を支える地域の取り組みを学ぼうと訪問。同法人専務理事の青木正照さん

生徒らは、袋に穴が開いたためスパーから寄付されたコメを、配布するため小袋に移し替える作業もした。3年の岩井紗葉さん(20)「茅野市豊平」は「住民を支える地域の活動を知り、将来、患者さんとの関わりを生かせばいい」と話していた。

5民タイムス

令和5年(2023年)6月17日 土曜日

こども食堂の支援学ぶ

看護専門学校 3年生6人 ホットライン信州で体験



企業から提供された米やパンの耳を小袋に詰める学生たち

県内でこども食堂の運営・支援をしているNPO法人ホットライン信州の塩尻市片丘にある拠点でこのほど、諏訪中央病院看護専門学校3年生6人が支援物資を作る作業をした。新型コロナウイルスと、物価高騰の中で

をテーマに学ぶグループで、フィールドワークのため拠点を訪れた。法人スタッフとともに県内の各企業から提供された米やパンの耳を小袋に詰め、こども食堂で配布する支援物資を作った。各地のこども食堂で提供されている冷凍おやきを焼く体験もした。

法人の活動を知らなかった。自分たちが関わってほしい」と話していた。法人の専務理事・青木正照さん(73)は「食を通じたつながりを学び、仕事や生活の中で生かしてほしい」と期待していた。

(細野はるか)

長野畜振(株)から牛乳120本をいただきました。

市民タイムス 2023年6月10日(土)

こども食堂に
牛乳を寄付

松本の長野畜振

NPO法人ホットラ
イン信州が主催する

「信州こども食堂 in

まつもと」が8日、松

本市本庄1の松本駅前

記念公園などで開かれ

た。食品を中心とする

多彩な支利物資ととも



牛乳を受け取る子供

まつもと」が8日、松
本市本庄1の松本駅前
記念公園などで開かれ
た。食品を中心とする
多彩な支利物資ととも



に、牛乳販売などを手
掛ける長野畜振(松本
市鎌田2)から寄付を
受けた牛乳が提供され
た。

地元でのこども食堂
の取り組みを知った小
林文明社長が協力を申
し出て、200リットルの
瓶入り牛乳120本を
届けた。訪れた人たち
は、ホットドッグやい
なりずしなどとともに
早速味わっていた。芳
川小学校4年生・窪田
律峽君(9)は「牛乳
は好き。おいしかった」と笑顔だった。
小林社長は「栄養価
の高い牛乳で子供たち
の役に立ちたい。酪農
家が大変な状況の中、
消費拡大のきっかけに
もなれば」と願い、可能
な範囲で継続していく
という。(鎌倉 希)

ジンコーポレーションさんからのご寄贈

松本市 信州こども食堂 in 松本どん八 信濃毎日新聞 7月15日

松本の会社子ども支援
パチンコ店経営などのジン
コーポレーション(松本市)
は、県内で子ども食堂を運営
するNPO法人ホットライン
信州(同)に現金11万円余を



寄付したII写真。経営するパ
チンコ店や飲食店、自動車販
売店に募金箱を置き、集まっ
た金額を贈った。
同社は2018年、松本市
の松本駅近くで経営する飲食
店で子ども食堂を開始。新型
コロナの影響で開けなくなっ
たが、同法人に現金や食事、
菓子の寄付を続けている。
同法人が開いた「信州こど
も食堂 in まつもと」で小学
生から感謝状を受け取った齋
藤彰宏社長(59)は「生活に困

っているお子さんや親御さん
の力になればいい」。同法
人の青木正照専務理事(73)は
「物価高騰で子ども食堂を必
要としている人は多く、大変
ありがたい」と話した。





長野県農業経営者協会様から ご寄付をいただきました。

7月28日(金)長野県農業経営者協会さまと懇談をする中、コロナ禍と急激な物価高騰の影響で苦労している、子どもや家庭の現状をお話ししながら、貴協会から子どもたちのために活用してほしいと30万円のご寄付をいただきました。



信濃毎日新聞

寄付

◇松本市【県農業経営者協会がNPO法人ホットライン信州へ寄付】県農業経営者協会は28日、県内で子ども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)に現金30万円を寄付。松本市内で同協会の根橋英夫会長が、ホットライン信州の青木正昭専務理事に目録を手渡した。

2023年8月2日(水) 市民タイムス

子ども食堂に 30万円を寄付

県農業経営者協会

県農業経営者協会(根橋英夫会長)はこのほど、松本市のNPO法人・ホットライン信州に、子ども食堂の運営に役立ててほしいと30万円を寄付した。ホットライン信州の本部事務所(松本市寿北5)で贈呈式が開かれ、根橋会長や会員で米農家の百瀬茂敏さん(74)＝神林＝が、寄付金を青木正昭専務理事に手渡した。根橋会長は「子供たちが健康やかに育ち、将来農業に興味を持ってくれたらうれしい」と願った。青木会長は「米や野菜がどう育ち手元に届くのかを、子ども食堂を通じて子供たちに伝える」と述べた。

(田中祥子)



記念撮影に臨むホットライン信州と県農業経営者協会の関係者

市民タイムス

子ども食堂に物資寄贈 松本中央LC フードドライブで協力



集まった多くの支援物資の前で行われた贈呈式

松本市に拠点を置くNPO法人ホットライン信州などはこのほど、島内の県松本合同庁舎前で「信州子ども食堂inまつもと」を開いた。共催の松本中央ライオンズクラブ(LC、青島千恵会長)がフードドライブを同時に行って物資集めに協力し、物価高などで生活に困っている人に食料品や衣類などを配った。

フードドライブでは野菜や缶詰、乾麺など約1万2000点が集まった。松本中央LCが創立55周年記念として縁日を併催したこともあり多くの親子連れが訪れ、食料品を寄付したり、物資をもらったりしていた。

松本中央LCはフードドライブを始めて6年目になる。青島会長は「活動の浸透には手応えを感じている。少量の寄付でもありがたい」と話していた。

(長尾浩道)

物価高騰に「寄付金型自動販売機」60台で支援

アルピコグループと、ダイドードリンコ(株)は、長野県内にある子ども食堂の継続的な支援を目的に「信州子ども食堂ネットワーク支援自動販売機」にアルピコグループ関連施設へ設置している60台の自動販売機を9月1日から切り替えました。学生ボランティアリーダー井口ここ音さんから感謝状の贈呈しました。



市民タイムス

信濃毎日新聞 2023年9月2日(土)

(3) 令和5年(2023年)9月2日 土曜日

当日は、トライ式高等学院松本キャンパスの学生達ボランティアスタッフ4名が参加協力してくれました。



自販機売り上げ 「子ども食堂」へ
アルピコグループ

アルピコグループとダイドードリンコ(大阪市)は1日から、同グループ関連施設にある自動販売機60台の売り上げ取る上嶋室長(手前左)



げの一部を、県内で子ども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)に寄付する。同日、NPO法人が松本バスターミナル(同)の自販機前で感謝状を贈った。ダイドードリンコが自販機70台余りの売り上げの一部を寄付しており、同グループが呼びかけに応じた。自販機はアルピコ交通(同)上高地線の駅やスーパーマーケット前

など、松本市や塩尻市、長野市などに設置されている。アルピコ交通の上嶋圭介・経営企画室長(右)は「普段の何気ない行動を通して、子ども食堂を支援できればいい」。ダイドードリンコ中部営業部(同)の倉谷学課長(左)は「60台増えるのは大きい。県民に子ども食堂支援をPRする効果もすごいと思う」と話していた。

本自販機は、売上金の一部を松本市に拠点を置くNPO法人ホットライン信州へ寄付することで子ども食堂の継続支援に役立てられるものです。早速!!寄付をする学生ら...

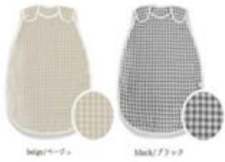
自販機で子ども食堂支援

収益の一部寄付 アルピコとダイドード

アルピコグループは、子ども食堂に寄付1日、飲料メーカーのダイドードリンコと協カして、松本バスターミナルや、松本市内を走るアルピコ交通上高地線の駅にある自動販売機60台の収益の一部を、子ども食堂の活動支援に知らせるパネルが掲出された自動販売機

ホットライン信州の青木正照専務理事は「多くの方が利用する自動販売機を通じて支援いただけることがうれしい」と感謝し、アルピコ交通経営企画室の上嶋圭介室長は「微力ながら子供たちを支援していることをPRするパネルを掲出し」と話している。(北原 悠)

「信州子ども食堂 ネットワーク」は、長野県内の子ども食堂約160カ所のサポート(食材提供・ひとり親家庭の支援・運営相談など)を行う団体です。今後の目標は、子ども・地域の居場所として県内370カ所の小学校区の開設を目指しています。子ども達へ食材・物資を安定的・継続的に届けるために「みんなのつながりの力」が必要です。ご協力をお願い致します。



ベビー、マタニティ用品を開発販売する塩尻市広丘野村のケラッタ(下村祐貴子社長)は27日、県内で子ども食堂を運営支援するNPO法人ホットライン信州に、幼児用スリーパー2000枚を寄贈した。物価高騰で負担が増している子育て世帯のために役立てられる。

スリーパー2000枚寄贈

ケラッタホットライン信州に



スリーパー2000枚を贈呈した式の出席者

を売った人
のほどモチ
ルチェンジ
をしたた

人の塩尻事務所に届けた。スリーパーはパジャマと布団を兼ねたような就寝時の衣服で、布団からはみ出しても幼児を寝冷えから守る。下村社長は「11万枚た。」(浅井文人)

ケーキ作りに挑戦する親子



ケーキ作り教室 親子30人楽しむ

松本乳製品会社協力

子どもの居場所づくりに取り組むボランティアグループ「笑和はうす」(松本市)は25日、定例の子ども食堂で親子らを対象にケーキ作り教室を松本市新村公民館で開いた。市内に工場がある乳製品製造の「フロマーシェアソ

シエジャポン」(東京)が社会貢献活動の一環で材料を提供し、作り方を教えた。この日、9組約30人の親子らが参加。同社あつみ野工場(松本市)副工場長の永野裕二さん(54)が講師を務め、参加者は同社のクリームチーズなどを使い、「ニューヨークチーズケーキ」作りに挑戦。焼き上がったケーキを持ち帰った。

「娘と一緒にケーキ作りができて良かった」。長女真優さん(9)は「材料を混ぜるのが楽しかった」と話した。同社が商品を使ったケーキ作り教室を開きたいと考え、NPO法人ホットライン信州(同)が仲介し、笑和はうすに打診。ホットライン信州は「他でもこうした取り組みを展開したい」としている。



NPO ホットライン信州(信州子ども食堂)で子育て中のスタッフらが、スリーパー2000枚を受取りました。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎0120-914-994

親子でチーズケーキ作り

菓子製造 新村「笑和はうす」で 企業が協力

松本市新村公民館を拠点とする子ども食堂「笑和はうす」でこのほど、菓子製造企業の協力で、チーズケーキ作り教室が開かれた。9家族20人余りが参加し、親子で調理を楽しんだ。

フロマーシェアソシエジャポン(本社・東京都)の申し出で初めて企画され、同社あつみ野工場(梓川俊)が

材料や器具、レシピを提供し、永野祐二(副工場長)が指導した。

子供たちは親に手伝ってもらいながら、ハンドミキサーなどを使ってチーズケーキの生地を作り、パウンドケーキの型に入れて焼いた。焼き上がりを待つ間に簡単にできるチーズボールを作った。親子4人で参加した手塚健君(9)は「ちよっと

難しかったけれど楽しかったと喜んでいました。笑和はうすを運営する大久保葉月さん(38)は「(新型コロナウイルス禍で)小さい子供は「親子で料理をする機会が減っているのだから本当にありがたい」と感謝していた。

同社は今後も、NPO法人ホットライン信州を通じて、各地の子ども食堂で教室を開く方針で、永野副工場長は「(新型コロナウイルス禍で)小さい子供たちは地域で集まる経験をできていない。そうした機会になれば」と話していた。

(柳 純一)

「クリームチーズも高いからこんな素敵な体験ができて嬉しいです」「こんなにたくさん材料が用意できないです」と言った喜びの感想をたくさんいただきました。焼いている間にクリームチーズを使ったチーズボール



チーズボール作りを楽しむ親子

ルを作りし、みんなでおやつにいただきました。甘いおいとともにふくらチーズケーキが焼き上がりました🍰。フロマーシェアソシエジャポン(株)さんが提供して下さったチーズのお土になりました。

12月8日(金)に波田町の太田達男さんから、りんご(ふじ)1600個 330*とのご寄贈がありました。早速、信州子ども食堂ネットワークと必要としている家庭に無料で、差し上げています。小粒ですが、とても美味しいです。



NPO ホットライン信州撮影

玄向寺に寄せられた食料品や物資



子ども食堂支援 協力に感謝 松本の玄向寺呼びかけ 食料品集まる

松本市大村の玄向寺副住職 荻須真尚さん(48)が取り組む、子ども食堂に食料品を寄付する「笠地藏プロジェクト」に、米約500kgや大根、長芋、ほうれん草などの野菜が寄せられた。7日、同寺でNPO法人ホットライン信州への贈呈式があった。

荻須さんが11月30日まで協力を呼びかけたところ、地元を中心に県内外の28人から食料品や現金計8万5千円が集まった。同法人専務理事の青木正照さん(74)は「物価高などの影響で、子ども食堂には例年にないくらい多くの親子連れが訪れ、食料品があつという間になくなる状況」と説明。給食がなくなる冬休みは「子ども食堂を頼りにする人が多い」とし、年末に向けた支援に感謝した。

同プロジェクトは新型コロナウイルス禍で生活が苦しくなった人を支援したいと2020年に始め、4年目。荻須さんは「たくさんさんの支援が集まり感謝している。厳しい状況が続くので、引き続き子ども食堂に心を寄せてほしい」と話している。

子どもと家族を支えよう！

ひとり親家庭等の子どもに夢と笑顔を 信州子ども食堂

松本市の玄向寺様からお米など約1トの物資とご寄附のご寄贈を受けました。

12月7(木)に松本市の玄向寺荻須さんがお檀家様より頂戴しました、米500kg・長芋60本・大根200・白菜・キャベツ・ほうれん草・長ネギ・玉ネギなど野菜多数、ドーナツ600個・蜂蜜35瓶・缶詰など多数と現金85000円のご寄付いただきました。ありがとうございました。

2023年12月8日(金) 市民タイムス

「笠地藏の心」食料品寄付

玄向寺 子ども食堂運営NPOに



集まった食料品の贈呈式



松本市大村の玄向寺が7日、子ども食堂を運営支援する市内のNPOホットライン信州に食料品を寄付した。新型コロナウイルス禍による失業や収入減で、生活が苦しい貧困家庭を支援する「笠地藏プロジェクト」での取り組み。県内外から集まった食料品や現金を11月下旬に集約をかけたところ、米が約500kg、大根200kg以上のほか、白菜、ネギなどが約30人から寄せられた。野菜、果物、現金が増えていると「家庭計が厳しく、子ども食堂に例年にないくらいの野菜が寄せられた」と話していた。玄向寺では引き続き食料品を募っている。持参する場合は事前に連絡が必要。問い合わせは玄向寺(0206-3-461100)へ。(土屋智恵)

子どもと家族を支えよう！ 支え～助けあい～心と心がかよう 信州子ども食堂

コロナ禍になった2020年から始めた「笠地藏プロジェクト」。今年で4年目になります。早速!!「信州子ども食堂ネットワーク」の各子ども食堂やひとり親家庭などに配布させていただきます。

お問い合わせは、NPO ホットライン信州 ☎ 0120-914-994

12月23日(土)大原学園様の教室をお借りし、松本蟻ヶ崎高校生と大原学園の学生らがNPO ホットライン信州が個人や企業(サンエイ・アプロ・マルハン様)から集まったお菓子のXmasプレゼントとお米の袋詰め作業 200袋を作り、子ども達に配布しました😊。また、蟻ヶ崎高校へアドネーション(病気や事故などで、髪の毛が必要な人への髪の毛の寄付のこと)得たお金2万円を当法人に寄付をしていただきました😊。



市民タイムス 2023年12月24日(日)



「信州こども食堂in」で開かれた。企業などまつもと学び塾」が23から提供された菓子を

Xmas用お菓子贈る

松本こども食堂 大原学園で



菓子をクリスマスプレゼント用に袋詰めする生徒や学生たち

松本蟻ヶ崎高校へアドネーション同好会・AHD30や、大原学園の学生がクリスマス用に袋詰めをして、子供たちにプレゼントした。生徒たちは、スナック菓子を透明なビニール袋に入れ、赤いひもを結んで贈り物にした。同好会は、活動を応援する団体から受けた支援金のうち余剰分をホットライン信州に寄付もした。部長の黒田香椰美さん(17)は「子供たちが喜んでくれたらうれしい」と話していた。

NPO法人ホットライン信州が主催する「信州こども食堂in」で開かれた。企業などまつもと学び塾」が23から提供された菓子を

市民タイムス 2023年12月31日



温かい食事で笑顔に

松本で年越しこども食堂

松本市寿北5のNPO 家庭に、年末年始を笑顔で過ごしてもらおうと、温かい食事や食料品、日用品を無料で提供した。島内地区の東方そばの会同志会が打った持



提供された温かいうどんを食べる来場者

物をいただけで助かる」と感謝していた。

同法人の青木正照専務理事は「個人や企業から善意で提供品を寄せて

ち帰りの年越しそば120食も配布した。松本市在住で小学生の子供2人と一緒に訪れた母親は「いろいろな

(石川鮎美)



中学生や高校生による被災地支援の輪が広がっています。松本市の高校では「ボランティア部」が能登半島地震の被災地に送るための支援物資を準備しました。コメや…卵…化粧品など、物資を袋に詰めていきます。松本市のエクセラン高校の福祉科と園芸農業コースの2年生と3年生です。

■NPO法人ホットライン信州・青木正照さん

「ニーズも徐々に変わって来ていて、やっとお風呂にはいれるようになったり、体を拭けるようになったということで、化粧品の詰め合わせも200セットくらい作った」物資は能登半島地震の被災地のほかあす松本市で開かれる子ども食堂に届けるということです。「こういう若い人たちが協力してくれて盛り上げてくれることで、被災した人たちの気持ちに寄り添って自分たちも頑張るんだという気持ちが湧き上がってもらえればと思っている」



子供や被災した人を思いながら 取り組む生徒たち

市民タイムス

信濃毎日新聞 2024.1.27



日、本年度に同校で栽培した米を、県内で子ども食堂を運営するNPO法人ホットライン信州(松本市)に寄付した。この日は、各家庭に配りやすいよう2キログラムずつ袋に小分けした11写真。同法人は、子ども食堂で配布するほか、能登半島地震の被災者にも届けたいとしている。

米は、田植えから稲刈りまで生徒らが全て手作業で栽培。予想以上の収穫があり、子ども食堂に役立ててもらおうと考えた。城戸柊斗さん

(17)は「被災地では大変な状況が続くので、早くおいしいご飯を食べられる状況になってほしいと願いを込めた」と話した。

同法人は27日午前11時半から、松本市本庄の活動拠点「学び塾」で開く子ども食堂でも配布を予定している。



被災者・困窮者に心寄せる

エクセラン高校で26日、福祉科と普通科園芸農業コースの2、3年生22人が、翌日に松本市内の子ども食堂で配布される支援物資の小分け作業をした。同コースの生徒が栽培した米60キログラムも含まれ、能登半島地震の被災地にも送れるように心を込めて作業を進めた。

被災地で需要がある化粧品も袋に詰めた。同法人の青木正照専務理事(74)は「生徒の気持ちは困っている人の心とずっとつながる。被災地支援は長期になるので思いを持ち続け、後輩にも伝えてくれる」と願っていた。

信州子ども食堂inまつもと学び塾は27日午前11時半から、本庄1の峯村ヒルの信州子ども食堂と近くの大原学園供と遊んだり勉強を教えたり松本校で行う。(田中千絵)

エクセラン高 支援物資を準備

2/26 山辺中学校の生徒会3名と先生が訪れ、山辺中学校で実施したアルミ缶回収で得たお金 6435 円を寄付してくださいました。さらに3人はボランティア参加してくださいました。



地元子ども食堂に寄付

山辺中学生徒会 缶回収で

松本市の山辺中学校生徒会は26日、地元山辺地区で運営されている「多世代寄り添い子ども食堂」に、6435円を寄付した。地

域貢献を目的に全校でアルミ缶の回収活動に取り組み、換金して得た収益を贈った。いずれも3年生で、前生徒会長の花岡未歩

(石川鮎美)



田口さん(左)に寄付金を渡す生徒たち

さん、ともに前副会長の倉田直拓さん、横山千穂さんが開催場所を訪れて、子ども食堂代表の田口恵子さんに寄付金を手渡した。花岡さんは「食材の購入に使ってください」と話し、田口さんは「来月、ちらしずしを作って提供する予定。材料費に使わせていただき」と礼を述べた。

生徒たちは子ども食堂の取り組みを全校に伝えるため、生活物資の配布や学習支援などの活動を手伝って体験した。生徒会は3月に、空き缶回収の収益金を市役所を通じて、能登半島地震の被災地に義援金として贈る。

3月3日(日)、松本市の「色と香りの子ども食堂」は、ひな祭りのテーマカラー「ももいろ」にちなんだ「もも色子ども食堂」を開きました。ランチメニューは、飾り巻き寿司とハンバーグ、もも色デザート付き。



春色の食卓囲む笑顔

エコール 子ども食堂などイベント

ードなどを出した。鎌田小学校2年の渡辺礼音さん(8)は「お花のおすしを楽しみに来た。おいしい」と笑顔だった。

エコールデココがNPOホットライン信州と共催した。吉岡さんは「定期的に開いていきたい。子供たちが色彩を学べる機会もつくれたら」と話した。

エコールデココは、その人に似合う色を生かした写真を撮影できるフォトスタジオ

松本市井川城2で、その人に合う色や香りを学ぶ講座を開いている「色と香りの学校・エコールデココ」(吉岡直美さん主宰)で3日、子ども食堂が開かれた。親子連れが飾り巻きずしやハンバーグの昼食を食べ、キーホルダー作りなどの体験を楽しんだ。



花模様の巻きずしなどの食事を楽しむ子供たち

を併設している。4日まで「色と香りのテーマパーク」を開き、ウエディングドレスの試着やフレグランス診断などを予約制で行う。イベント参加費は全額、能登半島地震の被災地支援に充てる。

(真田尚子)

NPOホットライン信州「信州子ども食堂ネットワーク推進・関連団体一覧」

国・県・各市町村関係機関		助成金・補助金 団体	
内閣府・厚労省・農林水産省	内閣府子供未来応援基金	(一財)日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)	ニッセイ財団
県子ども若者局・環境部・農政部	長野市子ども未来部・環境部	モバイルコミュニケーション	独立行政法人福祉医療機構
塩尻市交流支援課・福祉課・教育委員会・子ども課・家庭支援課・図書館		キュービーみらいたまご財団	日本財団 中央 長野県共同募金会
松本市子ども部・環境部	安曇野市・東御市・諏訪市	ベネッセ子ども基金	長野暮らしサポートセンター
関係団体		長野県みらい基金	三井物産環境基金 ソロピスミスト長野
労協ながの・高齢協	長野県みらい基金	(公財)東京コミュニティー財団	NHKわかば・NHK歳末赤い羽根
長野県暮らしサポートセンター	生活底上げ実現長野連絡会	(一社)全国食支援活動協力会	ファイザー JM基金
長野県社会福祉協議会・各市町村社協・NPO団体・反貧困ネットワーク		(一財)中部圏地域創造ファンド	JT日本たばこ産業
生活底上げ県連 労協協「労働3団体(連合等)・(労金・労済・生協等)		長野県元気づくり支援金	松本市子どもの居場所づくり
長野ボランティア	市民活動ネットワーク	信州子ども食堂ネットワーク 175カ所 裏面地図参照	
ながの若者サポートステーション	チャイルドラインながの	寄付自動販売機設置企業	
長野県司法書士会	アイアース	ダイドードリンコ(株)	
県内ソプロチミスト	翠翔会	アルピコグループ各60カ所の各施設	
学びサポート塩尻	(特非) わおん	日穀製粉(株)松本工場	笠原工業(株)
塩尻市配食ボランティアGP	信州アルプス大学校	松本日産自動車(株)2台設置	(株)創恒 2台設置
企業・団体・子ども食堂関連団体		(株)藤森プロパン商会	浅麓工業企業組合
全国子ども食堂ネットワーク	(株)サンエイ	全国フードバンク推進協議会	小木曾製粉 臨空工場
ジンコーポレーション(アポロ・どん八)	カーブス須坂 中野 飯山	岩野商会 松本支店	エフディフューチャー(株)2台設置
マルイ大町・KEIZ・ラッシュ松本	宝箱	(株)クラダシ	(有)小林青果店
おてらおやつクラブ・長谷寺・浄土宗ともいき財団・	スイーツ学会	APULO松本駅前店	新広自動車工業
長光寺・圓浄寺・圓成寺・玄向寺・安養寺・牛伏寺・	はぐしおアサヒ飲料(株)	(株)山風舎	藤城 泰郎 様
笠地藏プロジェクト	柄木田製粉株式会社	(有)サントーフーズ	(株)北原組
松本ユネスコ協会	中日本フード(株)	デイリーフーズ株式会社	(株)岡谷組 本社
国際ソプロチミスト松本	長野県遊技業協同組合	JANAながの	(株)日本ピスコ 本社工場
労金本店営業部青年委員会	キリングroup労組	JAGリーン長野	テンホウ米沢店 信州ハム(株)
労金松本支店青年委員会	(株)スドージャム	JAM中野市	(株)マルエイ 種兵
丸善食品・アスザックフーズ	信州ビバレッジ労組	共和園芸 三井金属	伸和コントロールズ(株)
新光電気労組 炭平	丸紅(株) 住友商事	カゴメ(株) ピザラー	(有)福沢製作所 2台設置
ナガノトマト(株)	長野銀行	すみれ会	信州元気塾 (株)ズー
塩尻市芸能文化協会	晴耕舎	(株)デリシア	信濃毎日新聞
新聞諏訪地区販売店会	マルシェ川上	神田堂書店	マルコメ 峯村組
ダスカジャバクアウトテック	ライオンズクラブ国際協会334-E	長野日石ガス	中野プラスチック工業(株)
ニッタイ株 ローソン	(株)テンホーフーズ (株)明治	ベストカラー	(株)中外製作所
高相物産・タッパーウェア	キッセイ薬品	日本アクセス	八十二銀行
ミスズコーポレーション	全国食支援活動協力会	炭平コーポレーション(株)	日立stemo上田(株)
NPO法人豊島子どもwakwakネットワーク	信州大学	松本大学	長野大学
フードバンク山梨	日本百貨店協会	新潟大学	立命館大学
清泉女学院	大原学園	信州ハム	塩尻市コミュニティスクール
バルシステム連合会	二鶴堂	順正学園	モランボン
パローホールディングス	信州豊南短期大学	長野短大	長野青学学園
サヴァンシアフロマージュ&デリージャパン(株)	寿石油株/あらかわ屋薬局/		
長野北東ロータリークラブ			
(一社)ギビングフォワード			
いろは堂	長野牛乳		
信濃化学工業	日本トイザラス		
(株)ニッポン	LA春山		
にいざわ皮ふ科	北信ガス(株)		
(有)トザワ	長野県JAバンク		
(株)戸隠そば山口屋	明治安田生命		
個人 約 2,800名以上多数			

